# 資料1

# 「第2期利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 令和6年度 数値目標・KPI実績報告書

# 1. 達成率の集計結果について

達成率	0%~49.9%	50%~59.9%	60%~69.9%	70%~79.9%	80%~89.9%	90%~99.9%	100%以上	合計
指標数	14	4	5	9	7	6	17	62

※指標項目は56

# 2. 各指標の数値目標・KPIの実績報告について

# 基本目標1 とことん子育て応援"TONE"プロジェクト

(数値目標)

	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KGI	次期計画R12目	担当課
	年間出生数	39人	38人	34人	43人	31人	38人	25人	現状維持	64.1%	出生数	38人	政策企画課 関係各課 (集計は住民課)
	5 年間の取組内容		1			R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	:踏まえた今後の取	組
	「総合振興計画」及び「子ども・子育て支援事業計画」に基っ	づき, 健診	・相談や経	令和5年度	とに実施し7	た住民意識	調査より「	現在の自分	かの子どもの数	枚が自分の理想とす	妊娠期から子育て期に係る生活面や経済	面の不安払拭に向い	けて,より一層の環境の整備や支
1	済的支援策、子育て支援事業を実施した。保護者の経済的負担	∃の軽減を決	減らすた	る自分の日	≧どもの数。	よりも少な	い理由」と	して, 1番に	に「子育てや	教育にお金がかかり	援、啓発、情報発信を行う必要がある。	「総合振興計画後期	用基本計画」の重点施策,及び「子
	め、恒久的に学校給食の無償化を実施し、令和5年度には、不	育症検査	及び治療を	すぎるから	55.5%,	次いで「st	F齢的に生	むのが難し	いから」29.1	%, 3番目に「不妊	ども・子育て支援事業計画」に基づき,	安心して子どもを産	み健やかに子育てができる環境を
	受けられた夫婦に対する費用の一部助成の開始、また、妊産婦	帚や子ども,	子育て家	等の理由に	こより,恵ま	まれないか	ら」14.5%	という理由	が挙がった。	このことから,経	づくりに繋がる, 子育て支援施策に取り	組む。	
	庭に対する支援を充実させるため、令和6年4月から「こども	家庭セン	ター」を設	済的な不安	その払拭や,	妊娠・出	産のための	環境,家庭	፪・子育てと伝	土事を両立しやすい			
	置し、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のないサポートを実	≷施した。		環境を整え	ていく必要	要があると:	考えられる	0					
	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	利根町の子育て環境が良いと思う小中学生の												子育て支援課
	保護者の割合 【保護者アンケート】	47.6%	_	_	_	_	34.7%	_	60.0%	57.8%			関係各課
	5年間の取組内容					D 6 Elt	西 / ニ さき・ゴーフ .	達成率の理	<b>ホトム</b> #		AK*	:踏まえた今後の取	<b>(中</b>
	児童手当や子育で応援手当、コロナ禍における子育で世帯への	かい 公子 たっ	行うマレル	促継者マト	ケートト					D 音目が多くみられ	77111 2	「	EH.
	より保護者の経済的負担の軽減を図った。町内外に住む乳幼児					. ,							
	でを対象としたキッズルーム及び、子育て支援団体等の支援活									チが利用 くさるよう			
2	等複合施設の一部)の令和7年度開設に向けて、令和6年度よ				- , ,					う 学びの機会を持			
-	工事、キッズルーム・支援ルーム開設の準備・調整を行った。					-		-,		,			
	社会的自立に至るまで、切れ目のない支援を提供するため、今				- ,			, , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(, ) (, )		_	
	家庭センターを設置した。その他、「利根町総合振興計画」及			124 12 13 13 13 13		XIII	2000						
	支援事業計画」に沿って事業を進めており、事業を推進してい												_
	り12.9ポイント減少した。	,											
	また、小・中学校児童生徒の給食の無償化について令和3年度	から実施し	, 保護者										
	の経済的負担の軽減を図った。												
	•												

重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
全放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100.0%			子育て支援課
5年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分	析を踏まえた今後の取組	
通年,1年生から6年の全学年を利用対象とし,各児	<b>竜クラブの空き状</b> 沥	に応じ	利用児童数	が増える!	長期休暇中	においても	,事前に利	用児童数を抵	四握し, 学校の教室			
て,入級希望児童を各児童クラブに振り分け,待機児	童が発生しないよ	う取り組み	を借用する	など調整で	する事によ	り,待機児	童が発生す	ることなく運	営営ができた。			
児童の放課後の居場所の確保に努めた。												
重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
病児保育利用登録者数	47人	40人	30人	29人	54人	75人	80人	70人	114.3%	病児保育利用登録者数	75人	子育て支援課
5年間の取組内容	I				R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分	↑析を踏まえた今後の取組	
病気の回復期に至らない場合等で集団保育や家庭での	保育が困難な状況に	にある子ど	HPやリーフ	フレットに	よる周知・	啓発や保証	1所の継続	、所由込の書	類に病児保育利田祭	保護者が仕事をしたがら安心して症!	見を預けられるとう 利田!	やオいよう制度に改正し
						H >0 ( PI()	3 / / 1 - > 1111111122	(/// ·   / / / / / / / / / / / / / / / /	极吃的儿体自们而丑	体設日が Life しながり気心して内が	しとはいう心のよう、石田に	ハラいる方的技に以正し
もを一時的に預かり、保育や看護を行い安心して子育	てができる環境を整	整備した。										1、1900年7月度に改正し
もを一時的に預かり,保育や看護を行い安心して子育また,令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見			録申込書を	同封する領	等,より多							ハ すいな 万勝及に改正し
	直しを行い,令和	5 年度より	録申込書を	同封する領	等,より多							7、90.4、7時及に以上し
また、令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見	直しを行い,令和	5 年度より	録申込書を	同封する領	等,より多							N Y V S ZIDJQ NEULED
また、令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見	直しを行い,令和	5 年度より 図った。	録申込書を より, 利用	同封する領	等,より多	くの保護者						担当課
また,令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見 休日を変更し病児保育室の連続利用が可能となるよう	直しを行い,令和 に開室日の拡大を[	5 年度より 図った。	録申込書を より, 利用	·同封する領 者の増に動	等, より多 繋がった。	くの保護者	の利用向上	につながるよ	うに努めたことに	くとともに、周知・啓発活動に努め	ა	
また、令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見休日を変更し病児保育室の連続利用が可能となるよう 重要業績評価指標(KPI)	直しを行い、令和に開室日の拡大を[	5 年度より 図った。 <b>R1実績</b>	録申込書を より,利用 R2実績	·同封する領 計者の増に <sup>集</sup> <b>R3実績</b>	等, より多 繋がった。 R4実績 0人	くの保護者 <b>R5実績</b> 0人	の利用向上 R6実績	につながる b <b>R6目標</b> 0人	くうに努めたことに <b>達成率</b>	くとともに、周知・啓発活動に努め 次期計画KPI	ა	担当課
また、令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見休日を変更し病児保育室の連続利用が可能となるよう  重要業績評価指標 (KPI)  保育所待機児童数	直しを行い、令和 に開室日の拡大を[ H30基準 0人	5 年度より 図った。 R1実績 0人	録申込書を より、利用 <b>R2実績</b> 0人	同封する 引者の増に <b>R3実績</b> 0人	等,より多 繋がった。 R4実績 0人 R6目	くの保護者 <b>R5実績</b> 0人 <b>漂に対する</b>	の利用向上 R6実績 0人 <b>達成率の理</b>	につながるよ <b>R6目標</b> 0人 <b>由と分析</b>	まうに努めたことに <b>達成率</b> 100.0%	くとともに、周知・啓発活動に努め 次期計画KPI	る。 次期計画R12目標	担当課
また、令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見休日を変更し病児保育室の連続利用が可能となるよう  重要業績評価指標 (KPI)  保育所待機児童数  5年間の取組内容	直しを行い、令和 に開室日の拡大をE H30基準 0人 率の伸びに伴い、f	5 年度より 図った。 R1実績 0人 R育所等に	録申込書をより、利用 R2実績 0人 町内6園と	同封する 引者の増に <b>R3実績</b> 0人 連携をと	等,より多 繋がった。 R4実績 の人 R6目i	くの保護者 <b>R5実績</b> 0人 <b>漂に対する</b> おいて,利	の利用向上 R <b>6実績</b> 0人 <b>達成率の理</b> 用定員を起	につながるよ <b>R6目標</b> 0人 <b>由と分析</b> える希望があ	<b>達成率</b> 100.0%	くとともに、周知・啓発活動に努め 次期計画KPI	る。 次期計画R12目標	担当課
また、令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見休日を変更し病児保育室の連続利用が可能となるよう  重要業績評価指標(KPI)  保育所待機児童数  5年間の取組内容 近年の保護者の就労状況、低年齢児等抱える親の就労	直しを行い、令和 に開室日の拡大を H30基準 0人 率の伸びに伴い、1 おいて、随時受け	5 年度より 図った。 R1実績 0人 呆育所等に 入れができ	録申込書をより、利用  R2実績  0人  町内6園と 士の補充や	同封する 者の増に	等,より多 繋がった。 R4実績 の人 R6目i	くの保護者 <b>R5実績</b> 0人 <b>漂に対する</b> おいて,利	の利用向上 R <b>6実績</b> 0人 <b>達成率の理</b> 用定員を起	につながるよ <b>R6目標</b> 0人 <b>由と分析</b> える希望があ	<b>達成率</b> 100.0%	くとともに、周知・啓発活動に努め 次期計画KPI	る。 次期計画R12目標	担当課

# (2)子育て世代が暮らしやすい環境づくり(重要業績評価指標:KPI)

重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
子育て情報集約ページ閲覧数	2759件	2930件	2239件	2074件	2601件	2400件	2170件	3000件	72.3%			子育て支援課
5年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析	fを踏まえた今後の取組	
6 町公式ホームページ内の子育て情報集約ページにて、妊娠・と	産から子育	育て期まで	子育て世帯	詩の減少に係	半い,件数:	が減少して	いるものと	思われる。ま	た、目標値が高く			
切れ目のない子育て支援事業について掲載した。また、子育で	て支援ガイト	ドブックの	設定されて	いる可能性	生があるたる	め,見直す	必要がある	と考える。				
情報を更新し窓口配布を行なうことで、子育てに関する様々や	青報を発信し	した。										
重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
												7—4-1:
乳幼児健診受診率	93.9%	97.9%	94.3%	97.7%	97.6%	97.4%	97.5%	97.2%	100.3%			子育て支援課
乳幼児健診受診率 5年間の取組内容	93.9%	97.9%		97.7%		97.4% 票 <b>に対する</b>			100.3%	分析	「を踏まえた今後の取組	子育て支援課
7			94.3%		R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析	100.3%	分析	で踏まえた今後の取組	子育て支援課
5年間の取組内容	診) と医療	機関によ	94.3%	き ・相談 ・	R 6目標 寺等に受診	<b>票に対する</b> 確認を行い	<b>達成率の理</b> (	<b>由と分析</b> ・に対して,受	診勧奨を行った。	分析	を踏まえた今後の取組	子育て支援課
5年間の取組内容           乳児健診は、町が行う集団健診(1歳6か月児健診、3歳児健	診) と医療	機関によ	94.3%	参査・相談明 目的に未受詞	R 6目標 寺等に受診する で者を抽出	<b>票に対する</b> 確認を行い	<b>達成率の理</b> (	<b>由と分析</b> ・に対して,受	診勧奨を行った。	分析	を踏まえた今後の取組	子育て支援課

#### (3)子育て世帯に対する経済的支援の充実(重要業績評価指標:KPI)

	(3) 子育て世帯に対する経済的支援の充実(重要業績評価指 重要業績評価指標(KPI)		R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	空家子育て活用促進奨励金支給件数	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	3件	0.0%	WANTE TO T	777777	生活環境課
	5 年間の取組内容					R 6 目	<u> </u> 標に対する:	達成率の理	由と分析		分	析を踏まえた今後の取組	1
8	町公式ホームページの移住・定住ページに掲載し制度の周知?	 を図った。	また, 登	補助金の	問い合わせ					を成にならなかっ			
	録物件を増加を図るため、固定資産税納税通知に空き家バンク	7制度,助	成金等のチ	た。また,	空き家バ	ンク物件を	利用するこ	とが条件の	ため、空き家	ズバンクの登録物件			
	ラシを同封するとともに、適正管理の空き家に対しても、空き										1		
	金等のパンフレットを送付し、登録物件の増加に取り組んだ。												
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	子育て世帯新築助成件数	18件	16件	11件	11件	17件	13件	17件	30件	56.7%			政策企画課
	5年間の取組内容					D.C.E.		***	+ 1. 1.15	33.170		+F + Dx + 3 + A 44 0 PR 45	
	- 114 - 114	\_ + \( - \)	t March (e	フェマル	世に や 土 っ :		標に対する			<b>年 4 日地东の</b>	77	析を踏まえた今後の取組	
	子育で世帯に対する新築助成金として新築マイホーム取得助成 住宅を新築、建て替え、または建売住宅を購入した者に対しま									行った。问制度の Eイベントで行った			
9	成金を交付し、また、子育て世帯に対しては助成金の上乗せを						, -			や移住定住カタロ			
	は助成金額を最大50万円から55万円(中学生以下の子ども一人			,		-	,			が増加傾向にあるた		_	
	15万円))に増額を行った。制度の周知については、町公式ホ						ることが重			万相加傾向にあるた			
	紙に掲載するとともに、町外で実施される移住に関連するイベ			,	元 中 門皮 の	可 XII (C 为 8)	ることが里	女でめるこ	. ちんる。				_
	い、子育て世代の移住・定住促進を図った。	17146	01 1(21)										
	, Je chiospie Activities call see												
	毛亚米体部/F-V-12 /VDI)	1100##	D a stratet	D 0 = 0 = 0 = 0	D. 0 (		D =/	D october	DOT IT	\sh _11 ====	V-40-1-7-1/-D-1		Am viv. Em
	重要業績評価指標(KPI) 理想よりも現在の子どもの数が少ない理由として「子育てや	H 30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	教育にお金がかかりすぎるから」と回答する住民の割合	45.7%	_	_	_	_	55.5%	_	43.0%以下	78.3%			政策企画課・関係各課
	【基本計画アンケート】	40.170					33.370		40.07050	70.570			(集計は政策企画課)
	5 年間の取組内容		<u> </u>			R 6 目	L 標に対する	達成率の理	由と分析		分	析を踏まえた今後の取組	1
	小・中学校児童生徒の給食の無償化について令和3年度から実	施し,保護	養者の経済	総合戦略の	の計画期間	の5年間は,	新型コロ:	ナウイルス!	感染症の拡大	による経済的不安や			
10	的負担の軽減を図った。また、出生の日から高校生相当年齢ま	きでの子ど	もに対し,	物価高騰の	による家計	への打撃も	あり, 当指	標のH30年	度基準値より	R5年度は9.8%増加			
10	所得制限を設けず医療費を無料化とするマル福制度や,妊娠及	なび出生の	届出後に,	したこと:	も要因であ	ると考えら	れる。「総	合振興計画	後期基本計画	圓」に基づき,子育			
	それぞれ5万円を給付する国の補助事業を活用した出産・子育	で応援事	業を実施し	て世帯に対	対する経済	的支援の充	実等に関連	する具体的	]な施策・事業	に取り組む。		_	
	た。												
	令和2年度以降は、国の新型コロナウイルス感染症対応の臨時	交付金や物	勿価高騰対										_
	応重点支援の臨時交付金を活用し、子育て世帯へや低所得子育	育て世帯へ	の支援金の	)									
	支給を実施した。												
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	任意予防接種者の割合	68.0%	63.6%	64.2%	59.0%	49.8%	46.4%	58.7%	75.0%	78.3%			保健福祉センター
	5 年間の取組内容					D C E	標に対する	幸成変の理	由と公共	. 3.370	Δ	析を踏まえた今後の取組	
	町単独で実施しているおたふくかぜ、小児インフルエンザ予防	技術の基序	田助武 同	<b>在音</b> 字院士	文種 /+ /田					午度によって拉種	77	川と明まんにフ夜の収削	
11								で作主りる	υυν/cα),	十尺によつく佞俚			
	さんの予防接種の費用助成額を拡大して実施した。また、ここ						-	いて 結场	頭的に 周知を図	コスととまた 総結			
1						センコードションズ (主			그리 그 나이 [다] 그러 그 나그	コンししいい, 水圧形に			
	ンダー,町公式ホームページ,広報とねにて助成についての掲			して費用の	の助成を実施	施し,疾病							
				して費用の		施し,疾病							

	(4) 地域が一丸となって子どもを見守り, 育む環境づくり 重要業績評価指標(KPI)			R2実績	P?宝结	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	主	日30季华	八工天根	八 2 天积	N 3 天限	八4天根	NO天限	NO天积	NO日保	连队平	<b>次朔計画KFI</b>	次朔計画R12日標	担当味
	地域子育て支援センター年間利用児童登録率	55.0%	59.6%	48.3%	43.8%	42.9%	57.1%	68.9%	60.0%	114.8%			子育て支援課
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		:	分析を踏まえた今後の取組	
	未就園児がいる家庭を対象に,各種活動を通して子育て世帯へ	への身近なる	字在として	地域の子習	育て支援拠	点として,:	文間保育園	と連携し,	子育てについ	へての相談,情報の			
12	子育て支援をしている。実績については、出生数の減少や就会	労する保護	<b>当が増えて</b>	提供, 助言	言を行う窓	コとして事	業を実施し	た。また,	活動内容を広	報とねや役場庁舎			
	いることから未就園児自体は減少しているが,未就園児がいる	る家庭を対象	象に、各種	内に掲示の	のほか,窓[	口での案内	や保健福祉	センター事	業の際に誘う	など,関係機関で	_		
	活動を通して、子育て世帯への身近な存在として子育て支援を	を行うため,	関係機関	連携して周	周知を図り,	利用者增加	加に努めた	0					
	や文間保育園で連携して周知を図ったことにより、利用者増加	加につなが.	った。										
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	子どもを守る110番の家登録数	233件	233件	232件	238件	238件	238件	235件	現状維持	100.9%			学校教育課
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析			分析を踏まえた今後の取組	
	スピナ た中 2 110 至 0 京は マンピナ が知されましまから まかける	か付きまとし	、等の被害	県主催のご	こどもを守る					治体の事例. 防犯		77 17 2710 7272 7 1275 1271	
13	を受けたときに助けを求めて逃げ込むための場所であるとい												
	地域住民の方、商店等に説明、理解いただいた上、協力を依						,				_		
	だき、子供たちの見守り、安全確保が図られた。				する110番の					,			
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
										01.104			
	児童下校時見守りボランティア数 	108人	89人	88人	73人	63人	70人	66人	現状維持	61.1%			学校教育課
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		:	分析を踏まえた今後の取組	
14	下校時見守りボランティアは、児童数の減少に伴い、ボラン	ティア協力	者が減少傾	高齢化や非	共働き世帯(	の増加によ	りボランテ	ィア協力可	能な人員自体	が減少している			
	向にあるが、地域での通学時の見守りの観点から、小学校が	各地区等へ	お願いして	が、統合に	こ伴い,ス	クールバス	での通学児	童が増加し	たため,見守	<b>ffりが必要な範囲が</b>			
	活動をしていただき,登下校時の安全確保が図られた。			減ったため	め, ボラン	ティア数が	減少傾向と	なっても対	応できている	0.			

#### 基本目標2 学力と心を育む"TONE"プロジェクト

不登校児童・生徒数の割合		(数値目標)												
「中国の中国の大大大阪の東京の大学のできない。		数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
中国		- 36 H-10		0.79%	1.03%	3.01%	3.64%	9.52%	6.05%		6.6%			
### 100-00-00 100 100 100 100 100 100 100 1		. —												指導課
### 1995年 1.0 (1995年		【 不登校で10日以上欠席した児童・生徒数の割合】		2.82%	4.55%	6.37%	7.88%	5.95%	11.03%	—	25.3%			
		5 (5 88 a To 40 ± 50	3.10%				D.C. E.		******			/\delta	+ D* + > + A (4 a Bratil	
大学の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の			<del></del>	N. I.L. / Z.L. III								分析	を踏まえた今後の取組	
Pool		,												
2.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	15	,												
### 2016 (1997) (1997		心の快討、教育怕談員やスケールケーケャルケーガーによる												
### ###														
### 1500-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-										,				
### 1997 #					, ,									
			C C (, 1/1						1000000	07C 07 7C, 1X	P C I I I I I I I I I I I I I I I I I I			
### (#1-12-77-7-11		TO STATE OF THE PARTY OF THE PA			-12 / / / / / /	(2)	.5 0,5 0 6							
### (#1-12-77-7-11														
### (#1-12-77-7-11														
### 100-75		数值目標		R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
1982年の大学のできた。主要の他は   1982年				_	_	_	_	75.5%	_		100.7%			
おおから											2001170			指導課
************************************		【小中学生アンケート】		_	_	_	_	63.4%	_		90.6%			
			66.6%						1 to 10 and 1 and 1		00.070			
### 1985年の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の		- 110 - 100	<i>b</i>	TI 44		L. Int site						分析	を踏まえた今後の取組	
### (1997年) - 400英語 (1997年)						,								
神景では、物語は、報告は中から本見の始めらしたのというです。	16			ル実態を把						が結果を分析し	, 授業を改善する			
使用				Troto =	, .					t o but A i i i i	E 左 东 李 杏 · · ·			
正かっておき合った。また、他们的な特別を含まれた。 かないのなどの このように、														
### ### ### ### #####################														
### ### ### ### ### ### #############			催し,お互し	ハの授業の			,		,	三安5教科のに	ついては,生徒の			
### 子どもの選っている学校に満足している相談的の計		進め万について話を行った。			実態に合	わせた指導:	かできなか	ったと考え	られる。					
### 子どもの選っている学校に満足している相談的の計														
### 子どもの選っている学校に満足している相談的の計														
### 子どもの選っている学校に満足している相談的の計		数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6月標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
		×1==1/x			11250450	11000130	11 12432	11000192	11 0 ) ( 1) 2		上級十	VAJII LIKI	90,931   E102   E103	7— 4 Mr.
「日本語・アンタート3   お字型   1		子どもの通っている学校に満足している保護者の割合		_	_	_	_	53.3%	_		66.6%			
5480の規制管   R5 日間に対する動産が見るを含め、														指導課
R 6 日本に大きでは、大小学校、大阪小学体、大阪の中心・大阪かりーキングラウムと振力の中心でいる。				_	_	_	_	54.0%	_		72.0%			
おいままでは、大く争後、支援が平位、前に平足の交流にかいて、それでお話。   中文経路の主席の中国で大変地はおおいまた。   中の表の音楽をいきない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をいまない   中の表の音楽をの表の音楽をいまない   中の表の音楽をの表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表		5 年間の取組内容	01.270				R 6日	 煙 <i>に</i> 対する	達成率の理			分析	を踏まえた今後の取組	
10			おいて それ	アグカ地域	小学校統会	今2年日のR					の不安が数値とし	241		
### 12														
1848年度13つの小学的を終わた。1つの利助小学校となったが、利助小学校としているのから生またものもの。また、バス部学の影物が見面が新している目標であったとも大阪開発の表している。														
中央では、表の他の主を対した。とないの意味を行うた。	17													
中央中では、中力の由上、信かの由上、重かなの可能を図るために、機会が整 か学校行事を充実させ、自己肯定部の向上にも取り組入だ。			75 , 45000-5-	7100										
(1) 町の特性を添かした教育プログラムの提供 (重要業期界保険機・KPD)  重要運動評価機関 (KPD)  (1) 町の特性を添かした教育プログラムの提供 (重要業期界保険機・KPD)  重要運動評価機関 (KPD)  (大きないたがたと考えられる。  「おりまました教育プログラムの提供 (重要業期界保険機・KPD)  (本) 「大きないたがたと考えられる。  「大きないたがたがたと考えられる。  「大きないたがたがたと考えられる。  「大きないたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたが、 「大きないたがたがたがたがたがたがたがたがたが、 「大きないたがたがたがたがたがたがたがたが、 「大きないたがたがたがたがたがたがたがたがたがたが、 「大きないたがたがたがたがたがたがたがたが、 「大きないたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたが			ろために、参	数員が授業		-, -						_		
サーキの大の他の大の他の大の他の大の他の大の他の大の他の大の他の大の人の人の人の人の人														
(1.) 町の特性を活かした教育プログラムの提供 (重要素納評価格標: KPI)			- 1.0 07.	C II /II /II = 0.										
(3) 即の特性を活かした教育プログラムの提供 (重要集終呼経形態: KPI)  重要素積料価格権 (KPI)		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	711293 - 111121	THE PERSON NAMED IN	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
第9月第2金曜日に実施する地元会析(風産食材も含む) を														
第9月第2金曜日に実施する地元会析(風産食材も含む) を														
第9月第2金曜日に実施する地元会析(風産食材も含む) を														
番月第2金曜日に実施する地元最材(創産資料も合む)を 50.9% 57.1% 72.2% 65.4% 75.0% 70.5% 7		(1) 町の特性を活かした教育プログラムの提供(重要業績	评価指標:K	(PI)										
使用した給食における地元食材の使用制合   50.9%   57.1%   72.2%   55.4%   75.0%   70.2%   74.1%   60.0%   123.5%   74.1%   56.0%   72.1%   54.00の政権内容   74.1%		重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
安田の歌曲内容		毎月第2金曜日に実施する地元食材(県産食材も含む)を	EO 0%	57 10/	72.2%	65.4%	75.0%	70.2%	7/110/	60.0%	122 50/			学校教育理
学校総食において、週4日の米飯給食には、利根町産の米を使用し、令和2年度からは料限町産ステビア本と始食に使用した。さらに令和2年度は、コロナ油による また、学校総食用食材の耐入業者の場合が開加した。 増加した。また、地元農家から食材約入業者の結晶できるよう連携を図る取り組み の他、食材削入業者にも協力していただき、本可及び突滅県産食材の提供をした。 「突越を食べよう給食」実施回数対構 R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回		使用した給食における地元食材の使用割合	30.976	37.176	12.270	05.470	75.0%	10.270	74.170	00.076	123.5%			<b>于</b> (X) 目 床
3 点半別級可能ステピア米も給食に使用した。さらに令和2年度は、コロナ禍による 18 原学院的意識別級を対象事業より、現態数材を提供を受けたため使用割合が大幅に増加した。また、地元最素から食材的末業者も協力していただき、本町及び突城県産食材の提供をした。 「茨城を食べよう給食」実施回数実績 R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回		5 年間の取組内容					R 6目	標に対する	達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
選案業績評価指標 (KP)		学校給食において,週4日の米飯給食には,利根町産の米を	使用し, 令和	和2年度か	* また, 学	校給食用食	材の納入業	者の協力の	もと, 地方	記野菜を多く取 で	Zり入れることがで			
増加した。また、地元農家から食材納入業者へ納品できるよう連携を図る取り組み の他、食材納入業者にも協力していただき、本町及び茨城県産食材の提供をした。 「茨城を食べよう給食」実施回数実績 R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回  - 重要業績評価指標 (KP)						前年度に	比べて「茨	城を食べよ	う給食」σ	)実施回数が増	加した。			
の他、食材納入業者にも協力していただき、本町及び突城県産食材の提供をした。 「茨城を食べよう給食」 実施回放実績 R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回	18													
下淡版を食べよう給食] 実施回数実績   R2 : 11回 R3 : 17回 R4 : 17回 R5 : 13回 R6 : 16回	1				L.								_	
R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回  - 重要業績評価指標 (KPI)			<b>産食材の提供</b>	共をした。										
選要業績評価指標 (KPI)		「茨城を食べ上う絵食  宝施同数宝績												
大学と小中学校の交流プログラム数 1件 1件 1件 1件 2件 2件 3件 2件 150.0%    14														
大学と小中学校の交流プログラム数 1件 1件 1件 1件 2件 2件 3件 2件 150.0%    5年間の取組内容   R 6目標に対する達成率の理由と分析														
大学と小中学校の交流プログラム数 1件 1件 1件 1件 2件 2件 3件 2件 150.0%    5年間の取組内容   R 6目標に対する達成率の理由と分析					ì	D 2中体	DA中华	D E 中体	D C 中体	DC P IT	法代表	*************************************	<b>次担計売り10日</b> 年	ね水讄
		R2:110 R3:170 R4:170 R5:130 R6:160	日20世港	R1字结	R 2字结		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11 11 20	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NU日保	连风华		<b>小州計画</b> R12日信	
1		R2:110 R3:170 R4:170 R5:130 R6:160	H30基準	R1実績	R2実績	113天順	11 12/198	1102/198	11 0 0 0 190					岩道 単
【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識・技能を有する学生・東京藝術大学との交流事業は平成30年度以前より実施しており、外部からの講師を招 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援を行い、児童生徒の芸 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ大学から専門部とし て、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。  【生涯学習課】2件 町内スポーツ少年団や学校、保護者等への周知を徹底したことにより目標達成に繋 がった。また、前年度開催後も「また参加したい」などの声も多かったため、再度参 加する児童により参加者数も増加した。 今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深 め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツ をより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り		R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b>								2件	150.0%			
小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識・技能を有する学生・東京藝術大学との交流事業は平成30年度以前より実施しており、外部からの講師を招 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援を行い、児童生徒の芸 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。  【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ大学から専門部とし て、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。  【生涯学習課】2件 町内スポーツ少年団や学校、保護者等への周知を徹底したことにより目標達成に繋 がった。また、前年度開催後も「また参加したい」などの声も多かったため、再度参 加する児童により参加者数も増加した。 今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深 め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツ をより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り		R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数					2件	2件	3件		150.0%	公析	を踏まえた今後の取組	
卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援を行い、児童生徒の芸術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。     【生涯学習課】     小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ大学から専門部として、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。     「サスポーツ少年団や学校、保護者等への周知を徹底したことにより目標達成に繋がった。また、前年度開催後も「また参加したい」などの声も多かったため、再度参加する児童により参加者数も増加した。     今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツをより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り		R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 重要業績評価指標(KPI)  大学と小中学校の交流プログラム数  5年間の取組内容			1件	1件	2件	2件	3件		150.0%	分析	を踏まえた今後の取組	
(大生涯学習課) (本語の主義では、日本ウェルネススポーツ大学から専門部として、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。 (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田)		R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】	1件	1件	1件	1件	2件 R 6 目	2件 <b>漂に対する</b>	3件 <b>達成率の理</b>	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
19 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ大学から専門部として、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。  【生涯学習課】 2 件 町内スポーツ少年団や学校、保護者等への周知を徹底したことにより目標達成に繋がった。また、前年度開催後も「また参加したい」などの声も多かったため、再度参加する児童により参加者数も増加した。 今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツをより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り		R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】  小中学生を対象に,東京藝術大学から美術を専門とした知識	1件・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京藝術ス	1件 1件 大学との交流	2件 R 6 目 流事業は平	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り	3件 <b>達成率の理</b> 以前より実施	<b>由と分析</b> 色しており、夕	部からの講師を招	分析	を踏まえた今後の取組	
小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ大学から専門部として、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。		R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援	1件・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京藝術 、 くことで	1件 1件 大学との交流 刺激になる。	2件 R 6 目 流事業は平	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り	3件 <b>達成率の理</b> 以前より実施	<b>由と分析</b> 色しており、夕	部からの講師を招	分析	を踏まえた今後の取組	
て、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行った。 がった。また、前年度開催後も「また参加したい」などの声も多かったため、再度参加する児童により参加者数も増加した。 今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツをより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。	1件・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京藝術ス くことで就 供していく	1件 1件 大学との交対 刺激になる	2件 R 6 目 流事業は平 ため、引き	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り	3件 <b>達成率の理</b> 以前より実施	<b>由と分析</b> 色しており、夕	部からの講師を招	分析	を踏まえた今後の取組	
加する児童により参加者数も増加した。 今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツをより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京藝術 、 くことで 、 供してい 、 【生涯学習	1件 大学との交換 刺激になる く。 習課】 2件	2件 R 6 目; 流事業は平 ため、引き	<b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し	3件 達成率の理 以前より実が た。今後も	由と分析 もしており、外の継続して芸術	部からの講師を招に触れる機会を提	分析	を踏まえた今後の取組	
今後も、近隣大学である東京藝術大学や日本ウェルネススポーツ大学との交流を深め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツをより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京藝術 くことで 供してい 、 【生涯学習 町内スポー	1件 大学との交対 刺激になる く。 習課】 2件 一ツ少年団	2件 R 6 目 流事業は平 ため、引き や学校、保	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し 護者等への	3件 達成率の理 以前より実が た。今後も	をしており、外 をしており、外 か継続して芸術	部からの講師を招に触れる機会を提 は、り目標達成に繋	分析	を踏まえた今後の取組	
め、芸術文化やスポーツの関心を高められるよう、子どもたちが芸術文化やスポーツ をより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】東京をです。 (ことでいく 【生涯学習 町内スポーがった。	1件 大学との交 刺激になる く。 習課】 2件 ーツ少年団・ また, 前年	2件 R 6 目 流事業は平 ため、引き や学校、保 度開催後も	<b>漂に対する</b> 成30年度以続き実施し 護者等への 「また参加	3件 達成率の理 以前より実が た。今後も	をしており、外 をしており、外 か継続して芸術	部からの講師を招に触れる機会を提 は、り目標達成に繋	分析	を踏まえた今後の取組	
をより身近に体験できる機会の提供や大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京ないで 供していい。 【生涯学習でいる。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	1件 大学との交対 刺激になる く。 習課】 2件 一ツ少年団・また、前年 童により参	2件 R6目 流事業は平 ため、引き や学校、保 度開催後も増	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し 護者等への 「また参加 加した。	3件 達成率の理 以前より実施 た。今後も	由と分析 色しており、外の 継続して芸術	部からの講師を招 に触れる機会を提 り目標達成に繋 っったため、再度参	分析	を踏まえた今後の取組	
	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東京等のでは、 (とこれのでは、 (生涯学がでいる。 では、 は生涯でいる。 がった。 には、 の後も、 は	1件 大学との交る く。 習課】2件 ーツ少年団ー また、前年 により参う 近隣大学で	2件 R6目 流事業は平 ため、引き や学校、後も 増数も考 ある東京藝	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し 護者等への 「また参加 加した。 術大学や日	3件 達成率の理 以前より実施 た。今後も の周知を徹底 したい」 な	由と分析  他しており、外の 継続して芸術  ましたことによっての あも多か	部からの講師を招 に触れる機会を提 り目標達成に繋 っったため、再度参	分析	を踏まえた今後の取組	
	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】東京に、 供生に、 は、	1件 大学との交流 対象になるで なる。 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、	2件 R 6 目 流事業は平まため、引き や学校(後も増製する) 中変 関心 ある 東京 関心	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し 護者等への が大きが が大きが が大きが である がある。	3件 <b>達成率の理</b> 以前より実施 た。今後も か周知を徹底 はしたい」な は本ウェルネラ、子	由と分析  他しており、外の 継続して芸術  ましたことによった。どの声も多か  ススポーツ大き	部からの講師を招 に触れる機会を提 り目標達成に繋 いったため、再度参 学との交流を深 術文化やスポーツ	分析	を踏まえた今後の取組	
	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東ことでは、「一大」には、「一大」には、「一、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一、「一、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、	1件 大学との交流 対象になるで なる。 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、	2件 R 6 目 流事業は平まため、引き や学校(後も増製する) 中変 関心 ある 東京 関心	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し 護者等への が大きが が大きが が大きが である がある。	3件 <b>達成率の理</b> 以前より実施 た。今後も か周知を徹底 はしたい」な は本ウェルネラ、子	由と分析  他しており、外の 継続して芸術  ましたことによった。どの声も多か  ススポーツ大き	部からの講師を招 に触れる機会を提 り目標達成に繋 いったため、再度参 学との交流を深 術文化やスポーツ	分析	を踏まえた今後の取組	
	19	R2:11回 R3:17回 R4:17回 R5:13回 R6:16回 <b>重要業績評価指標(KPI)</b> 大学と小中学校の交流プログラム数 <b>5年間の取組内容</b> 【指導課】 小中学生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識 卒業生(指導員2名)を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援 術的感性と絵画制作への基礎技術向上につながった。 【生涯学習課】 小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ	1件 ・技能を有す	1件	1件 【指導課】 東ことでは、「一大」には、「一大」には、「一、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一、「一、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一大」には、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、	1件 大学との交流 対象になるで なる。 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、  というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、	2件 R 6 目 流事業は平まため、引き や学校(後も増製する) 中変 関心 ある 東京 関心	2件 <b>漂に対する</b> 成30年度り 続き実施し 護者等への が大きが が大きが が大きが である がある。	3件 <b>達成率の理</b> 以前より実施 た。今後も か周知を徹底 はしたい」な は本ウェルネラ、子	由と分析  他しており、外の 継続して芸術  をしたことによる  ないの声も多か  なススポーツ大	部からの講師を招 に触れる機会を提 り目標達成に繋 いったため、再度参 学との交流を深 術文化やスポーツ	分析	を踏まえた今後の取組	

	(2)学力向上と豊かな心を育む教育環境の充実(重要業績詞	平価指標:	KPI)								_		
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	全国学力・学習状況調査のためのテストのうち 算数の結果が県平均を上回っている	小学生 63.1%	49.5%	_	56.9%	60.0%	48.6%	55.5%	65.0%	85.4%			指導課
	児童(小学6年生),生徒(中学3年生)の割合	中学生 36.1%	67.4%	_	59.4%	55.2%	53.8%	50.0%	50.0%	100.0%			14 4 MV
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	を踏まえた今後の取締	<u> </u>
	小中学校に非常勤講師を配置し, 授業時間の支援だけでなく,	休み時間	等を利用し	小学生が目	目標未達成の	の原因とし	て考えられ	るのは, 当	該学年におい	いての基礎知識が定			
20	た個別の学習相談に対応した。また、学年が2クラスになった	たことによ	り, 授業者	着していた	よいことが	挙げられる。	,教職員と	しても,学	習指導要領に	沿って授業時間数			
20	間で授業の質向上のための研究に取り組んだ。中学校において	ては,県南	教育事務所	を加味し,	計画的に	受業を進め	ているが,	生徒の理解	解度に合わせて	て個別に指導にする			
	から数学専門の講師を招聘し、授業改善や教職員のスキルア	ップのため	の研修を実	時間の確偽	呆が難しい。	のが現状で	ある。一方	中学校では	は,定期テスト	、に向けて、自ら勉			
	施した。			強をする生	上徒も増え,	わからな	いとこを理	解しようと	: 意欲的に学習	習に取り組んでいる			
				ことが, 目	目標達成の	要因の一つ	であると考	える。小中	□学校共に,恳	思考力・判断力・表			
				現力を問れ	つれる問題に	に対する苦	手意識が傾	向として見	られるため,	自分の考えを表現		_	<u></u>
				する時間を	を重視した技	受業展開へ	転換できる	よう指導助	<b>力言を続けてい</b>	`<.			
						•							
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	英語の授業のわかりやすいと思う	小学生	_	_	_	_	67.6%	_	小学生	107.3%			
	児童(小学5, 6年生) , 生徒中学1~3年生) の割合	52.9%							63.0%				指導課
	【小中学生アンケート】	中学生 58.4%	_	_	_	_	47.7%	_	中学生 65.0%	73.4%			
	5 年間の取組内容	30.470				R 6 目	 票に対する:	 達成率の理			分析を	と踏まえた今後の取締	<u> </u>
21	英語の授業を分かりやすくするために、小中学校ともALTを配	置して、本	場の英語	小学校では	ま, R5年度	実績の結果	より、分か	りやすい技	受業づくりが <sup>~</sup>	 できたと考えらる。			_
	を常に体験できるようにした。			理由は, A	LTを上手に	こ活用し,多	英語の免許	をもった教	(員が授業を計	画したからであ			
	小学校では、英語の免許をもっている教員を中心として、授業	美を計画し,	児童に	る。									
	とって分かりやすい授業を実践した。中学校では、英語科の教	<b>炎員で授業</b> ・	づくりにつ	中学校では	は, R5年度	の実績が47	7.7%であり	, 目標値 <i>t</i>	から大幅に下れ	がってしまった。中			
	いて検討し、学年の実態に応じた分かりやすい授業が実践でき	きるように	した。	学校の英語	吾は,単語を	や文法をお	ぼえ、自在	に活用する	までに時間か	がかかることから授		_	
				業が分かり	りにくいと	考える生徒	が多いと考	える。					
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目	担当課
	中学生の英語検定3級以上取得者の割合	24.0%	10.3%	13.0%	15.6%	12.6%	22.5%	32.0%	40.0%	80.0%	英語検定料補助事業を利用して英検を受験し	70人	指導課
	, , = +, , , , , , , , , , , , , , , , ,	24.076	10.5%	13.0%	15.0%					80.0%	た児童・生徒の延べ人数		
	5年間の取組内容						票に対する				77.11	と踏まえた今後の取締	
	小中学校へALT3名を配置するとともに、教育課程特例校の認	, , ,									今後も小学校から英語を学べる環境を整		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	生から英語を学べる環境を作り、英語検定料補助金の交付回数		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,						心に授業を計画し、ALTを活用して、楽		
22	者を中学生から小中学生に拡大した。また、英語検定に向けて	ての生徒の:	希望により		,					そ行い,英語検定の	生にも英語検定補助事業を行うことで,		
	ALTによる指導を行った。									るが、まだ目標値に	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
				は達成して	ていない。打	受業で学んだ	だことが英	語検定に活	かされていな	いことが考えら	にも授業で学んだことが英語検定で活か		
				る。							た、ALTの活用が授業だけでなく、英語	検定の面接練習を行	っことで3級の合格者も増やしてい
											<.		

### (3)教育相談体制の充実(重要業績評価指標:KPI)

	(3)教育相談体制の充実(重要業績評価指標:KPI)												
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	スクールソーシャルワーカーの相談において,	00.00/	00.00/	F7.00/	CE 00/	CF 00/	00.00/	60.60/	00.00/	77.00/			The vide and
	事案が解決又は収束した割合	80.0%	39.0%	57.0%	65.0%	65.0%	66.2%	69.6%	90.0%	77.3%			指導課
	5 年間の取組内容	<u> </u>				R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分	析を踏まえた今後の取組	
	児童生徒及び保護者に関する諸課題等の解決に向けた支援・こ	女善を目的(	こ,スクー	SSWの相談	淡における	事案の解決	又は収束に	:ついて, E	標達成率がき	未達成となった要因			
	ルソーシャルワーカー(SSW)の専門的な知識,技能を活用	用し、SSV	Nと学校が	として考え	こられるのに	は,対応事	案が初期の	ものではな	く,ある程度	₹大きくなってし			
23	積極的に連携を図り、児童生徒及び保護者の抱える悩みや問題	頭の解決に]	取り組ん	まってから	s, SSW~	の相談にな	ってしまっ	たことが大	きな要因だる	と考える。学校だけ			
	të.			で対応でき	きないもの,	対応に迷	っている段	階で, SS	Wにも事案を	と相談し、初期段階		_	
				から一緒に	こ解決に向い	ナて考えて	いいくこと	が大切であ	る。そのため	りに、SSWとの面			
				談が必要が	ごと感じられ	れる児童生	徒及び保護	者がいる場	合、小中学村	交のコーディネー			
										る体制作りに努める			_
				必要がある		LIEXUIA	BE-E C C C C	W 6 7 6 1		が対けりたみのる			
				必安かめる	0 0								
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	適応指導教室通級児童生徒の学校復帰の割合	25.0%	11.1%	22.2%	16.7%	66.7%	57.1%	50.0%	50.0%	100.0%			指導課
	应师品等数王应献儿里工能少于"人区市"之前自	23.070	11.170	22.270	10.770	00.770	37.170	30.070	30.070	100.070			月守林
	5年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分	析を踏まえた今後の取組	
	適応指導教室「とねっ子ひろば」を図書館2階に開設し、指導	算員3名及	び指導主事	適応指導教	效室は,不登	登校児童生	徒の学校に	代わる重要	な居場所であ	あり, 教育の機会を			
24	1名の合計4名を配置し、毎日2名体制で不登校児童生徒の3	支援を行っ?	た。具体的	確保するだ	こめの場所	であるため	,児童生徒	の個々の状	況や課題をし	しっかり明確にした			
	には、児童生徒及び保護者との学習相談や面談の実施、また、	学級担任	や学年主	上で, 一/	人一人の児i	童生徒の実	態に合わせ	た学習指導	及び学校復帰	帚に向けた支援や教		_	
	任、生徒指導主事等と情報共有を図り、学校復帰に向けた支持	爰を実施し;	t= 0	育相談の3	た実など. 。	より一層き	め細やかな	支援に取り	組む。				
			- •										_

# 基本目標3 健康・福祉で安心"TONE"プロジェクト

数値目標

数値目標

町民検診など日常の保健活動の満足度

【基本計画アンケート】

高齢者や障がい者などへの福祉対策の満足度

(数値目標)

	【基本計画アンケート】		
	5 年間の取組内容		
	「利根町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」及び	「利根町障	がい者
25	プラン」に基づき,介護保険制度の周知や在宅医療・介語	護の連携推	進,介
	護保険外の生活支援サービスの提供など,一人暮らし高齢	齢者や高齢	渚のみ
	の世帯、認知症の方、心身機能の低下に不安がある高齢を	者,障がい	を抱え
	た方などが,住み慣れた環境の中で安心して生き生きと暮	事らし続け	られるよ
	う、事業を実施した。		

同アンケートにおける「福祉・健康対策に関してどのような取組を優先して取 り組むべきか」という問いに対して「高齢や障がいによって要介護になっても 在宅生活が続けられるサービスの充実」が66.9%と最も多い結果となり、老後 の不安を感じている町民が多いことがわかった。町民の不安払拭に向けて,支 援体制や制度の周知,出前講座の実施のほか,高齢者の生活支援ニーズに合っ たサービスの敷借め近去を図る必要がある

R6目標に対する達成率の理由と分析

14.9%

R6目標

16.3%

達成率

91.4%

H30基準 R1実績 R2実績 R3実績 R4実績 R5実績 R6実績

		75 9 - 6	への登開へ	で加元を凶	る必安//`゚゚	ນຈຸ					
H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
17.7%	_	_	_	-	29.7%	_	18.5%	160.5%			保険年金課・保健福祉センター (集計は政策企画課)

次期計画KPI

次期計画R12目標

分析を踏まえた今後の取組

分析を踏まえた今後の取組

担当課

(集計は政策企画課)

5年間の取組内容 26 「健康づくりとね21」に基づき、骨粗しょう症予防教室検診やヘルシー 相談,がん検診等を実施した。また,「利根町国民健康保険データヘルス計」とを目的に,個別相談事業や集団健康教育を実施していることで,H30年度の 画・特定健康診査等実施計画」に基づき、特定健康診査や特定保健指導等 を実施した。

生活習慣病予防・健康づくりのための知識の普及や、健康の保持増進を図るこ 基準より12ポイント上昇した。引き続き、町民が相談しやすい環境を整備す

R6目標に対する達成率の理由と分析

4

#### (1)健康増進・介護予防の推進(重要業績評価指標:KPI)

	(1)健康増進・介護予防の推進(重要業績評価指標:KPI)												
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	フリフリグッパー体操参加者数	1951人	2053人	538人	657人	1578人	1427人	1657人	2000人	82.9%			保健福祉センター
	(年間延べ人数)	1931	2055/	336/	0377	1376)	14217	1037	2000/	02.9%			体庭価性セクター
	5 年間の取組内容	•				R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	:踏まえた今後の取組	
	認知症予防対策を目的として、町内2つの公共施設を会場として	て,フリフ	リ地区運	令和6年度	[は,新型=	ロナウイル	ノス感染症(	り影響で縮り	小していたボ	ランティア研修会を			
	動集会を,月に6回実施している。また,町の広報紙に毎月記	事を掲載,	町民運動	再開し、こ	フリフリ地[	区運動集会	の介護予防	効果につい	て, ボランテ	ティアや参加者とと			
27	会への参加等を通して、フリフリグッパー体操の周知を行った	。令和6年	度は新型	もに再確認	認した。認知	印症予防対:	策として,	参加者がさ	らに健康的な	:生活が送れるよ			
	コロナウイルス感染症の影響で縮小していたボランティア研修	会を再開し	<b>ン</b> ,フリフ	う, ボラン	ンティアの	方と協力し <sup>-</sup>	て運動集会	の継続的な	運営を行う。	また、町の事業へ		_	
	リ地区運動集会の介護予防効果について、ボランティアや参加	0者ととも(	に再確認し	の積極的な	な参加を継続	売し、住民	への周知を	行い,参加	者の増加へ繋	ながていく。			
	た。また、町制施行70周年記念事業介護予防いきいき大集会に	こおいて,	フリフリ									_	_
	地区運動集会縮小版を実施し、町と協力して介護予防の普及啓	啓発に努め7	た。										
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	シルバーリハビリ体操参加者数	15145	11050	6070	5505 1	0051	0055.1	10000	15500	66.60/			/D /th t= t   1   2   4
	(年間延べ人数)	15145人	11950人	6279人	5505人	9951人	9855人	10330人	15500人	66.6%			保健福祉センター
	5 年間の取組内容	•				R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	:踏まえた今後の取組	
	利根町シルバーリハビリ体操指導士の会が主体となって,町内	刃16か所で,	,年間700	令和6年度	[は,新型=	ロナウイル	ス感染症の	り影響で縮り	小していた内容	容を元に戻し,シル			
28	回を超える教室を実施している。利根町は県内で初めて体操指	6導士が誕生	生した町	バーリハモ	ビリ体操の	充実を図っ:	た。今後も	継続して,	地域介護を担	!う体操を普及する			
	で、令和6年度に町の体操指導士の会が20周年を迎えた。新型	!コロナウィ	イルス感染	ボランティ	ィア(シル	ベーリハビ	リ体操指導	士)の養成	や活動を支援	し, 住民主体の介			
	症の影響で、参加者が減少したが、現在は、少しずつ増加して	いる。令和	16年度は	護予防活動	動を支援して	ていく。							
	町制施行70周年記念事業介護予防いきいき大集会において、シ	ンルバーリ	ハビリ体操									_	
	を行い、町と協力して介護予防の普及啓発に努めた。												
	重要業績評価指標(KPI)	1120##	D1中体	D och sit	Da中维	D 4中华	D.C. chart	DC中体	DC E +m	***	Your Start Co. I		40 V/==
	里安耒模計[[[]指标(NPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画 K G I ・特定健康診査受診者1件当たりの医療額(歯	次期計画R12目標	担当課
	特定保健指導対象者の指導実施率							44.44		40.00	科・調剤を除く)	21,861円	(= a
	(対象者:国民健康保険被保険者)	39.7%	23.4%	35.3%	21.6%	24.0%	15.4%	11.6%	60.0%	19.3%	・特定健康診査未受診者1件当たりの医療費(歯	34,706円	保険年金課
	V 2-2 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2										科・調剤を除く)	- 1,1 - 2 1 2	
	C 左眼 4 取织 卡克												
	5 年間の取組内容							達成率の理				:踏まえた今後の取組	
29	健診結果返送の際に,特定保健指導対象者に生活習慣病等の早					合わせて設	定している	ため、高い	・目標率となっ	- ,	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	777 77-77					合わせて設	定している	ため、高い	・目標率となっ	- ,	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に,特定保健指導対象者に生活習慣病等の早	を行うとと	もに,参加	現状として	ては,保健技	合わせて設	定している	ため, 高い の送付及び	、目標率となっ 電話にて参加	- ,	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早 性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しを	を行うとと ご啓発を実力	もに, 参加 施した。	現状としてものの, 写	ては,保健技 実績には結び	合わせて設 指導対象者が	定している 全員へ通知 ない。保健	ため, 高い の送付及び 指導対象者	、目標率となっ 電話にて参加	勧奨を行っている  診を受けるだけで	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど	と行うとと ご啓発を実別 いたが,今	もに,参加 施した。 令和6年度	現状としてものの, 写満足してし	ては,保健技 実績には結び	合わせて設 指導対象者が	定している 全員へ通知 ない。保健	ため, 高い の送付及び 指導対象者	、目標率となっ 電話にて参加 行の多くは、優	勧奨を行っている  診を受けるだけで	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなと ※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上して	と行うとと ご啓発を実別 いたが,今	もに,参加 施した。 令和6年度	現状としてものの, 写満足してし	ては,保健技 実績には結び	合わせて設 指導対象者が	定している 全員へ通知 ない。保健	ため, 高い の送付及び 指導対象者	、目標率となっ 電話にて参加 行の多くは、優	勧奨を行っている  診を受けるだけで	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなと※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診	と行うとと ご啓発を実別 いたが,今	もに,参加 施した。 令和6年度	現状としてものの, 写満足してし	ては,保健技 実績には結び	合わせて設 指導対象者の	定している 全員へ通知 ない。保健	ため, 高い の送付及び 指導対象者	、目標率となっ 電話にて参加 行の多くは、優	勧奨を行っている  診を受けるだけで	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなと※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診	と行うとと ご啓発を実別 いたが,今	もに,参加 施した。 令和6年度 員があった	現状としてものの, 写満足してし	ては,保健技 実績には結び	合わせて設 指導対象者の	定している 全員へ通知 ない。保健	ため, 高い の送付及び 指導対象者	、目標率となっ 電話にて参加 行の多くは、優	勧奨を行っている  診を受けるだけで	対象者には、引き続き保健指導の重要性	の周知を行い,今後に	,
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。	を行うとと ご啓発を実施 いたが、名 の項目に欠担 <b>H30基準</b>	もに、参加 施した。 令和6年度 員があった	現状として ものの、 満足してし <b>R2実績</b>	ては,保健 実績には結ら しまい,その	合わせて設 指導対象者: がついてい が後の保健!	定している 全員へ通知 ない。保健 指導に興味 R5実績	ため,高いの送付及び 指導対象者 関心を持た	ハ目標率となっ 電話にて参加 行の多くは、優 ない傾向があ	勧奨を行っている 建診を受けるだけで る。 <b>達成率</b>	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者	の周知を行い,今後1 に外部委託し,受診3	極の向上に取り組む。 担当課
29	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。	を行うとと ご啓発を実 いたが、 〈 ③項目に欠払	もに,参加 施した。 令和6年度 員があった	現状としてものの、多満足してし	ては,保健打 実績には結っ しまい,その	合わせて設 指導対象者: びついてい り後の保健	定している 全員へ通知 ない。保健 指導に興味	ため,高いの送付及び お導対象者 関心を持た	い目標率となっ 電話にて参加 近の多くは、優 ない傾向があ	制製を行っている 創診を受けるだけで る。	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者	の周知を行い,今後1 に外部委託し,受診3	<b>率の向上に取り組む</b> 。
	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率	を行うとと ご啓発を実施 いたが、名 の項目に欠担 <b>H30基準</b>	もに、参加 施した。 令和6年度 員があった	現状として ものの、 満足してし <b>R2実績</b>	ては,保健 実績には結ら しまい,その	合わせて設 指導対象者: びついてい D後の保健: R4実績 12.7%	定している 全員へ通知 ない。保健 指導に興味 <b>R5実績</b> 13.5%	ため,高いの送付及び 指導対象者 関心を持た	N目標率となっ 電話にて参加 の多くは、後 ない傾向があ R6目標 15.0%	勧奨を行っている 建診を受けるだけで る。 <b>達成率</b>	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後1 に外部委託し,受診3	極の向上に取り組む。 担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん	を行うとと ご啓発を実施 いたが、名 沙項目に欠払 H30基準 12.1%	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0%	現状として ものの、 満足してし <b>R2実績</b> 12.7%	ては、保健技 実績には結 しまい、その R3実績 13.7%	合わせて設 指導対象者: びついてい D後の保健: R4実績 12.7% R6目	定している 全員へ通知 ない。保健 指導に興味 R5実績 13.5%	ため,高いの送付及び 指導対象者 関心を持た R6実績 13.2% 達成率の理	N目標率となっ 電話にて参加 の多くは、優 ない傾向があ R6目標 15.0% 由と分析	勧奨を行っている	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後に に外部委託し,受診 次期計画R12目標	極の向上に取り組む。 担当課
	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなと※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん 5年間の取組内容	を行うとと。 で啓発を実力 いたが、4 ②項目に欠払 H30基準 12.1%	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0%	現状として ものの、 満足してし R2実績 12.7%	ては、保健技 実績には結 しまい、その R3実績 13.7%	合わせて設 指導対象者: びついてい が後の保健 R4実績 12.7% R6目 水表記	定している 全員へ通知 ない。保健 より より まり まり まり また また また また また また また また また また	ため,高いの送付及び 指導対象者 関心を持た R6実績 13.2% 達成率の理 診者数が減	N目標率となっ 電話にて参加 の多くは、優 ない傾向があ R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受	勧奨を行っている    診を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後に に外部委託し,受診 次期計画R12目標	極の向上に取り組む。 担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなと※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容  他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容	上行うとと:  「啓発を実」 いたが、4  □ 項目に欠払  「	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 歳代の国保	現状としてものの、 5 満足してし R2実績 12.7% 新型コロフ いるが、 3	ては、保健技 実績には結 しまい、その R3実績 13.7%	合わせて設 指導対象者: がついてい か後の保健! R4実績 12.7% R6目れ 感染症の影! えていない。	定している 定している 全員へ通知 ない。保健 は は は は は に 興味 <b>R5実績</b> 13.5% <b>票に対する</b> 響により受 。また、そ	ため,高いの送付及が 指導対象者 関心を持た R6実績 13.2% <b>達成率の理</b> 診者数が減 の中でも若	N目標率となって 電話にて参加 の多くは、優 ない傾向があ R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受 い世代の受影	勧奨を行っている    診を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後に に外部委託し,受診 次期計画R12目標	軽の向上に取り組む。 担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなと※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6	上行うとと:  「啓発を実」 いたが、4  □ 項目に欠払  「	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 歳代の国保	現状としてものの、 5 満足してし R2実績 12.7% 新型コロフ いるが、 3	ては、保健技 実績には結 しまい、その R3実績 13.7%	合わせて設 指導対象者: がついてい か後の保健! R4実績 12.7% R6目れ 感染症の影! えていない。	定している 定している 全員へ通知 ない。保健 は は は は は に 興味 <b>R5実績</b> 13.5% <b>票に対する</b> 響により受 。また、そ	ため,高いの送付及が 指導対象者 関心を持た R6実績 13.2% <b>達成率の理</b> 診者数が減 の中でも若	N目標率となって 電話にて参加 の多くは、優 ない傾向があ R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受 い世代の受影	勧奨を行っている    診を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後に に外部委託し,受診 次期計画R12目標	軽の向上に取り組む。 担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI) がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん 5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受意	上行うとと:  「啓発を実」 いたが、4  □ 項目に欠払  「	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 歳代の国保	現状としてものの、 5 満足してし R2実績 12.7% 新型コロフ いるが、 3	ては、保健技 実績には結 しまい、その R3実績 13.7%	合わせて設 指導対象者: がついてい か後の保健! R4実績 12.7% R6目れ 感染症の影! えていない。	定している 定している 全員へ通知 ない。保健 は は は は は に 興味 <b>R5実績</b> 13.5% <b>票に対する</b> 響により受 。また、そ	ため,高いの送付及が 指導対象者 関心を持た R6実績 13.2% <b>達成率の理</b> 診者数が減 の中でも若	N目標率となって 電話にて参加 の多くは、優 ない傾向があ R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受 い世代の受影	勧奨を行っている     記診を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%   診者数は増加して	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後に に外部委託し,受診 次期計画R12目標	軽の向上に取り組む。 担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI) がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん 5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受意	上行うとと:  「啓発を実」 いたが、4  □ 項目に欠払  「	もに、参加 施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 気代の検体	現状としてものの、 満足してし <b>R2実績</b> 12.7% 新型コロ いるが、 ため、全体	ては、保健計 実績には結ね しまい、その <b>R3実績</b> 13.7% ナウイルス駅 予測より増 本の受診率の	合わせて設 指導対象者: がついてい か後の保健! R4実績 12.7% R6目れ 感染症の影! えていない。	定している 定している 全員へ通知 ない。保健 は は は は は に 興味 <b>R5実績</b> 13.5% <b>票に対する</b> 響により受 。また、そ	ため,高いの送付及が 指導対象者 関心を持た R6実績 13.2% <b>達成率の理</b> 診者数が減 の中でも若	N目標率となって 電話にて参加 の多くは、優 ない傾向があ R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受 い世代の受影	勧奨を行っている   記を受けるだけで   る。   達成率   88.0%   診者数は増加して   者が増えていない	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い、今後に (に外部委託し、受診 次期計画R12目標 踏まえた今後の取組	軽の向上に取り組む。 担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI) がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受罰容器の郵送申し込みを実施した。	上行うとと:	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 歳代い、検体	現状としてものの、 満足してし R2実績 12.7% 新型コロー ため、全体	ては、保健計 実績には結 しまい、その R3実績 13.7% ナウイルス 予測より増 本の受診率の	合わせて設 音導対象者: がついてい が後の保健! R4実績 12.7% R6目 <sup>*</sup> 感染症のおい。 えていない。 の向上には	定している 定している 全員へ通知 健康 <b>R5実績</b> 13.5% <b>票に対する</b> 要によた、そで でながって <b>R5実績</b>	ため,高いの送付及まで おりでは おりでは 大め、高いの送付及ませる。 おりでは ではずりまする。 ではずりでは ではずいでは ではがしが ではがな ではが ではがな ではがな ではがな ではが に	N目標率となって 電話にて参加 の多くは、優ない傾向があ ない傾向があ <b>R6目標</b> 15.0% 由と分析 少した後、受診 い世代の受診 である。	勧奨を行っている   記診を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%     診者数は増加して     者が増えていない	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い,今後に に外部委託し,受診 次期計画R12目標	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受罰容器の郵送申し込みを実施した。	上行うとと。 で啓発を実 いたが、名 ②項目に欠払 12.1% R器を送付 年度は40歳 診勧奨を行	もに、参加 施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 気代の検体	現状としてものの、 満足してし <b>R2実績</b> 12.7% 新型コロ いるが、 ため、全体	ては、保健計 実績には結ね しまい、その <b>R3実績</b> 13.7% ナウイルス駅 予測より増 本の受診率の	合わせて設 指導対象者: がついて(健 ア後の保健 12.7% R6目标 感染症の影響 えていない。 の向上には	定している 全員へ通知 はい。保興味 「R5実績」 13.5% <b>黒に対する</b> い。 はい。 はお に興味 に対する い。 に対する い。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。	ため、高いの送付及する の送付及ます。 指導対象を持た <b>R6実績</b> 13.2% <b>達成率の理</b> 診者数がも表す。 いない現状	N目標率となった。 電話になり、優ない傾向があ の多くは、優ない傾向があ ない傾向があ はない傾向があ はない傾向があ にない便位の受影である。	勧奨を行っている   記を受けるだけで   る。   達成率   88.0%   診者数は増加して   者が増えていない	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI	の周知を行い、今後に (に外部委託し、受診 次期計画R12目標 踏まえた今後の取組	をの向上に取り組む。 <b>担当課</b> 保健福祉センター
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受認容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率	上行うとと:	もに、参加施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 歳代い、検体	現状としてものの、 満足してし R2実績 12.7% 新型コロー ため、全体	ては、保健計 実績には結 しまい、その R3実績 13.7% ナウイルス 予測より増 本の受診率の	合わせて設 指導対象者い がつい保健 R4実績 12.7% R6目相 感染症の影 えていない。 の向上には R4実績 5.0%	定している 全員へ通知 健 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ため,高いの送付及まで おりでは おりでは 大め、高いの送付及ませる。 おりでは ではずりまする。 ではずりでは ではずいでは ではがしが ではがな ではが ではがな ではがな ではがな ではが に	N目標率となっ 電話にても、優 の多くは、優 ない傾向があ は、優 ない傾向があ かした後、受 い世代の受影 である。 R6目標 17.0%	勧奨を行っている   記診を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%     診者数は増加して     者が増えていない	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受罰容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容	H30基準 10.2%	もに、参加 施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 域代の国保 い、検体 R1実績 12.6%	現状として ものの、 満足してし R2実績 12.7% 新型コロ ため、全体 R2実績 11.0%	ては、保健計 実績には結結 しまい、その R3実績 13.7% サウイルス!! 本の受診率の R3実績 7.0%	合わせて設 計導対象者 がついてい が後の保健 R4実績 12.7% R6目材 感染症の影 えていない。 の向上には R4実績 5.0% R6目材	定している 全員へ通知 健 は 「 <b>R5実績</b> 13.5% <b>悪に対する</b> <b>悪に対する</b> 6.7% <b>悪に対する</b>	ため,高しの送付及を持たの送付及を持た R6実績 13.2% 達成率の理 がも若状 R6実績 5.5% 達成率の理	N目標率となっ 電話にて参り の多くは、優 ない傾向があ は、優 ない傾向があ か 中 は、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	勧奨を行っている  記を受けるだけで   る。   <b>達成率</b>   88.0%   	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に (に外部委託し、受診 次期計画R12目標 踏まえた今後の取組	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受罰容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容 個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団	H30基準 12.1% H30基準 12.1% H30基準 10.2%	もに、参加 施した。 令和6年度 員があった R1実績 12.0% するなどの 歳代の検体 R1実績 12.6%	現状としてもものの、 5 満足してし R2実績 12.7% 新型コロン ため、全体 R2実績 11.0%	ては、保健計 実績には結結 しまい、その R3実績 13.7% サウイルス!! 本の受診率の R3実績 7.0%	合わせて設 計導対象 はい が後の保健 R4実績 12.7% R6目材 感染症のない。 の向上には R4実績 5.0% R6目材 感染症の影	定している 全員へ、 全員へ、 保明味 R5実績 13.5% 票に対する 要によた、って R5実績 6.7% 票に対する 要にはより受そ	ため、高いの の送り付数を持た R6実績 13.2% 達成者数がも現状 R6実績 5.5% 達成者数が急	N目標率となった。 R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受影である。 R6目標 17.0% 由と分析 減した後、受影	勧奨を行っている  記を受けるだけでする。   <b>達成率</b>	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30 -1	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受証容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容 個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団ディース検診(子宮がん・乳がん同日で検診)を実施した。ま	任行うとと: で啓発を実加いたが、名を頂目に欠払 ・	もに、参加施した。 令和6年度 員があった  R1実績  12.0%  するな国体  R1実績  12.6%	現状として ものの、 満足してし <b>R2実績</b> 12.7% 新型コロ ため、全体 <b>R2実績</b> 11.0%	ては、保健計 実績には結結 しまい、その R3実績 13.7% サウイルス! 本の受診率の R3実績 7.0%	合わせて設 計導対象でいいの後の保健性 R4実績 12.7% R6目材 感染症のない。 R4実績 5.0% R6目材 感染症のいたは	定定している 定全員ない。 保事 R5実績 13.5% 票に対する のでである。 ではまたがって R5実績 6.7% 票に対する のではまり のではまたがって のではまたが。 のではまたが、 のではなが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではながが、 のではなががが、 のではながががががががががががががががががががががががががががががががががががが	ため、高いで の送導対を持た R6実績 13.2% 達成者如いも現状 R6実績 5.5% 達成者数がも現状 R6実績 5.5%	N目標率となった。 R6目標 15.0% 由と分析 少した後、受診である。 R6目標 17.0% 由と分析 減にである。	動奨を行っている 連診を受けるだけで る。 達成率 88.0% 診者数は増加して 者が増えていない きが増えていない 診率は低迷してい Rから外れたこと,	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30 -1	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受罰容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容 個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団	任行うとと: で啓発を実加いたが、名を頂目に欠払 ・	もに、参加施した。 令和6年度 員があった  R1実績  12.0%  するな国体  R1実績  12.6%	現状として ものの、 満足してし <b>R2実績</b> 12.7% 新型コロッ ため、全体 <b>R2実績</b> 11.0%	ては、保健計 実績には結結 しまい、その R3実績 13.7% サウイルスリ 予測より増率 不の% アクイルスリ 3年で受診 及び70歳	合わせて設 音導対象とい を を で で の の の の の に は に は に の の に は に の に は に に の に は に に に に に に に に に に に に に	定して、 定して、 定して、 では、 には、 では、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	ため、高いの にの送導なた R6実績 13.2% 達診のいいない現状 R6実績 5.5% 達診齢っている。 を成者者もいいない。 R6実績 5.5% 達診齢っている。 なる者者のいるとしている。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	N目標率となった。 R6目標 15.0% 由と分析 少した代のの表 いである。 R6目標 17.0% 由と分析 の関 のがある。 R6目標 17.0% 由と分析 の対 のがある。	動奨を行っている 連成率 88.0% 診者数は増加して 者が増えていない 達成率 32.4%	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30 -1	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受証容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容 個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団ディース検診(子宮がん・乳がん同日で検診)を実施した。ま	任行うとと: で啓発を実加いたが、名を頂目に欠払 ・	もに、参加施した。 令和6年度 員があった  R1実績  12.0%  するな国体  R1実績  12.6%	現状として も 満足してし <b>R2実績</b> 12.7% 新型コンが、全体 <b>R2実績</b> 11.0% 新型コここ。 あ、全体 が増え、き	ては、保健計 実績には結 しまい、その R3実績 13.7% サウイルリ 予 本の受診 アの機 サウイルス!! 3年ででする歳で でする。 でででする。 でででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 でです	合わせて 音導対いて を を は で で の の の の の の の の の の の の の	定している知 定としている に に は は は は は は は は は は は は は は は は は	ため、高いの 高いの 高いの 高いの また は は は は は は は は は は は は は は は は は は	N目標率となった。 R6目標 15.0% 由と分析 少い世代る。 R6目標 17.0% 由と分析 次の地代の高の個人 のの個人 のの個人	動奨を行っている 記診を受けるだけで る。 <b>達成率</b> 88.0% 診者数は増加して 者が増えていない <b>達成率</b> 32.4% 診率は低迷してい みから外れたこと, より経済的な負担 にいる。	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30 -1	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受証容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容 個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団ディース検診(子宮がん・乳がん同日で検診)を実施した。ま	任行うとと: で啓発を実加いたが、名を頂目に欠払 ・	もに、参加施した。 令和6年度 員があった  R1実績  12.0%  するな国体  R1実績  12.6%	現状としても満足してしまれる。 成え、 10% が増え、 2 を 11.0% が 2 に 11.0% が 3 の 1 に 3 に 11.0% が 3 の 1 に 3 に 11.0% が 3 に 11.0	ては、保健結 では、保健結 では、保健結 には、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	帝わせて教 高導対いの後の保健 R4実績 12.7% R6目标 惑染での上には R4実績 5.0% R6目标 惑染のの受った。 R6目标 変染のの受った。 ないは、 R6目标 変染のの受った。 ないがった。	定している知 定としている に に は は は は は は は は は は は は は は は は は	ため、高いの 高いの 高いの 高いの また は は は は は は は は は は は は は は は は は は	N目標率となった。 R6目標 15.0% 由と分析 少い世代る。 R6目標 17.0% 由と分析 次の地代の高の個人 のの個人 のの個人	動奨を行っている 連成率 88.0% 診者数は増加して 者が増えていない 達成率 32.4%	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課
30 -1	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しをできなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど※これまで法定報告値の数値(毎年11月発表)を用いて計上しては町の実施率を計上している。法定報告値は、採血不能等健診方は数値から除かれ、実際の実施者数と差が生じる。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 大腸がん  5年間の取組内容 他のがん検診等とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容受診しやすい環境整備を行った。また、勧奨者を拡大し、R6の方と50歳~69歳の全住民へ、受診勧奨通知により個別の受証容器の郵送申し込みを実施した。  重要業績評価指標(KPI)  がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者:国民健康保険被保険者) 乳がん  5年間の取組内容 個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団ディース検診(子宮がん・乳がん同日で検診)を実施した。ま	任行うとと: で啓発を実加いたが、名を頂目に欠払 ・	もに、参加施した。 令和6年度 員があった  R1実績  12.0%  するな国体  R1実績  12.6%	現状としても満足してしまれる。 成え、 10% が増え、 2 を 11.0% が 2 に 11.0% が 3 の 1 に 3 に 11.0% が 3 の 1 に 3 に 11.0% が 3 に 11.0	ては、保健計 実績には結 しまい、その R3実績 13.7% サウイルリ 予 本の受診 アの機 サウイルス!! 3年ででする歳で でする。 でででする。 でででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 でです	帝わせて教 高導対いの後の保健 R4実績 12.7% R6目标 惑染での上には R4実績 5.0% R6目标 惑染のの受った。 R6目标 変染のの受った。 ないは、 R6目标 変染のの受った。 ないがった。	定している知 定としている に に は は は は は は は は は は は は は は は は は	ため、高いの 高いの 高いの 高いの また は は は は は は は は は は は は は は は は は は	N目標率となった。 R6目標 15.0% 由と分析 少い世代る。 R6目標 17.0% 由と分析 次の地代の高の個人 のの個人 のの個人	動奨を行っている 記診を受けるだけで る。 <b>達成率</b> 88.0% 診者数は増加して 者が増えていない <b>達成率</b> 32.4% 診率は低迷してい みから外れたこと, より経済的な負担 にいる。	対象者には、引き続き保健指導の重要性 化を図るため、特定保健指導を専門業者 次期計画KPI 次期計画KPI	の周知を行い、今後に ハ 今後に ハ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの向上に取り組む。  世当課  保健福祉センター  担当課

### (2) 安心できる医療・福祉の提供体制の構築(重要業績評価指標:KPI)

	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	かかりつけ医を決めている人の割合												
	(対象:40歳以上64歳以下)	48.6%	_	_	_	_	_	50.6%	58.6%	86.3%			保健福祉センター
	【健康づくり計画アンケート】												
	5 年間の取組内容						票に対する				分析を	踏まえた今後の取締	<u>A</u>
;1	自分の体質や病歴、健康状態を把握し、診療のほか健康上の	アドバイスな	よどもして	新型コロナ	トウイルス原	感染症のまん	ん延により	人が集ま	るような保健	建事業の中止が余儀			
	くれる身近な医師として"かかりつけ医(ホームドクター)"?	を持つよう,	各種健	なくされ,	啓発をする	る機会が減	少してしま	ったため,	平成30年度か	<b>ぃら伸び率が上がら</b>			
	診・相談・教室などの保健事業及び町広報紙、こころの健康	づくりカレン	ノダーを活	ず、達成に	こ至らなかっ	った。							
	用して周知を図った。												
_	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	D1宝结	R2実績	R3実績	D/I宝结	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
		1130至十	八工大假	八乙大假	ハン大根	八十大根	ハン大阪	NU大限	では	连成平	<b>入州計画NTI</b>	<b>次朔計画NIZ日</b> 振	2000年
	高齢者の悩み相談できる相手がいない割合										京齢者の悩み相談できる相手がいない割合		
	高齢者の悩み相談できる相手がいない割合 【介護保険計画アンケート】	31.1%	_	37.2%	_	_	38.5%	_	29.0%以下	76.5%	高齢者の悩み相談できる相手がいない割合 【介護保険計画アンケート】	37.0%	福祉課
		31.1%	_	37.2%	_	— R 6 目	38.5% 票 <b>に対する</b>			76.5%	【介護保険計画アンケート】	37.0% 踏まえた今後の取締	
	【介護保険計画アンケート】		上で要介護		_ 里由として,		票に対する	達成率の理	由と分析		【介護保険計画アンケート】 <b>分析を</b>	踏まえた今後の取締	<u></u>
	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン	ケート調	未達成の理外出を控え	こる方が増え	新型コロ: え,地域で	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> ₹などのサークル活動を通じて交 ↑して社会貢献できる就労活動や
	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン	ケート調	未達成の理外出を控え	こる方が増え	新型コロ: え,地域で	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> などのサークル活動を通じて交 へして社会貢献できる就労活動や
	【介護保険計画アンケート】	に,町内在位 700人にアン る相手がいな	ンケート調 ない割合を	未達成の理外出を控え	える方が増た	新型コロ: え,地域で 巴握できる	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> ₹などのサークル活動を通じて交 、して社会貢献できる就労活動や
	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン る相手がいな 繋げる。	ケート調ない割合を	未達成の理 外出を控え アンケート	える方が増た	新型コロ: え,地域で 巴握できる	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> ₹などのサークル活動を通じて交 ↑して社会貢献できる就労活動や
_	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン る相手がいな 繋げる。 う、高齢者に	ッケート調 ない割合を 二関する	未達成の理外出を控え アンケート ることが原	える方が増た	新型コロ: え,地域で 巴握できる	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> ₹などのサークル活動を通じて交 ↑して社会貢献できる就労活動や
	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン る相手がいた 繋げる。 う、高齢者に 援センターの	ッケート調 ない割合を ご関する D周知を行	未達成の理外出を控え アンケート ることが原	える方が増た	新型コロ: え,地域で 巴握できる	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> ₹などのサークル活動を通じて交 ↑して社会貢献できる就労活動や
	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン る相手がいな 繋げる。 う、高齢者に 爰センターの を実施し、田	ゲート調 はい割合を で関する の周知を行 Tが実施す	未達成の理外出を控え アンケート ることが原	える方が増た	新型コロ: え,地域で 巴握できる	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>狙</b> などのサークル活動を通じ トして社会貢献できる就労活
	【介護保険計画アンケート】	に、町内在位 700人にアン る相手がいな 繋げる。 う、高齢者に 爰センターの を実施し、田	ゲート調 はい割合を で関する の周知を行 Tが実施す	未達成の理外出を控え アンケート ることが原	える方が増た	新型コロ: え,地域で 巴握できる	 <b>漂に対する</b>   ナウイルス   の活動につ	<b>達成率の理</b> 感染症の影 いても参加	<b>由と分析</b> 響により,年 1していないた	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	【介護保険計画アンケート】	<b>踏まえた今後の取る</b> とから,運動や趣味 の経験や技能を生か	<b>組</b> ほなどのサークル活動を通じて トして社会貢献できる就労活動

#### 基本目標4 住むなら"TONE"プロジェクト

(数値目標)

Г		数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
		社会増減数	△6人	△52人	△110人	△99人	65人	202人	304人	0人	304.0%			政策企画課 (集計は住民課)
		5 年間の取組内容					R 6 目标	票に対する	達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
3	33	「総合振興計画」,「総合戦略」や「過疎地域持続的発展計画	圓」に基づる	き具体的な	日本ウェル	/ネススポ-	-ツ大学の	留学生の受	け入れによ	り大幅に増加	となった。引き続			
	,	施策・事業を実施するとともに、シティプロモーション活動の	充実を図っ	った。	き, 「総合	計興計画]	, 「総合	戦略」や「	過疎地域持	続的発展計画	i」に基づき具体的			
					な施策・事	事業を実施す	けるととも	に,移住・	定住に繋が	るシティプロ	モーション活動の			
					充実を図る									
		数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
		今後利根町に住み続けたいと思う住民の割合	61.5%					64.9%		65.0%	99.8%			政策企画課
		【住民アンケート調査】	01.570					04.570		03.070	99.070			以來正回訴
		5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
3	34	令和5年度において次期計画策定に伴い満16歳以上の町民で,	無作為抽出	による	基本計画や	総合戦略に	こ基づき,	子育て支援	や・教育環	境・定住促進	等に関連する施策			
		2,000人を対象にアンケートを実施した結果,前期計画時によ			や事業を行	<sub>j</sub> ってきたた	:め, H30₫	再度実施よ	りも3.4ポイ	ント増加して	いるものの, 目標			
		た。			達成には至	Ξっていなし	١,							
		基本計画や総合戦略に基づき,子育て支援・教育環境・定住の	足進等に関連	重する具体										_
	1	的な施策・事業を実施した。												

	(1)利根町シティプロモーションの推進(重要業績評価指標	票:KPI)											
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	町公式インスタグラムフォロワー数	800人	1100人	1167人	1266人	1479人	1695人	2100人	2000人	105.0%			まち未来創造課
	5 年間の取組内容	1	1			R 6 目	標に対する	達成率の理	由と分析		5	分析を踏まえた今後の取組	
	町公式インスタグラムにて、町の四季やイベントなどの写真・	・動画を投稿	高し, 町の	令和6年度	に実施した	, 桜や蓮の	の開花状況を	ょどの毎日:	投稿, 布川神	社臨時大祭や利根			
	魅力発信を図った。			町民納涼花	花火大会での	カライブ配	信,イベン	ト時の町公	式インスタク	ブラムのQRコード配			
35	インスタグラムフォトコンテストの実施やイベント時に町公式	tインスタ:	グラムの	布により,	目標数以	上のフォロ	ワー獲得に	繋がったと	考えられる。				
	QRコードを配布するなど,フォロワーの新規獲得に努めた。			今後も時代	代の流行に済	主目しなが	ら, インス	タグラムを	活用し,効果	!的な周知活動にて			
	また、近年のインスタグラムのショート動画(リール動画)の	の流行を受	け, 令和5	フォロワ-	ー数の増加る	を目指す。	また, SNS	の効果的な	活用方法につ	いて, スキルアッ			
	年度から従来の写真の投稿に加え、リール動画の投稿本数を増	曽やし,桜	や蓮の開花	プ研修等を	を通して他記	果の職員に	周知し,全	庁的に情報	!発信に対する	意識を高めるよう		_	
	状況などの毎日投稿を実施した。			取り組む。									
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	とね元気塾ワークショップ参加者数	190人	_	_	_	-	-	1	300人	_			まち未来創造課
	5 年間の取組内容	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	R 6 目	標に対する	達成率の理	由と分析		5.	分析を踏まえた今後の取組	
	とね元気塾ワークショップ「利根の桜の花みこし」では、今秋	和2年度より	リ,新型コ	当KPI設定	三後に,新型	ピコロナウィ	イルスが感	や拡大し, 行	従来の集合型	ワークショップイベ			
	ロナウイルス感染拡大防止のため、従来の集合型のワークショ	ョップイベン	ントの開催	ントの開作	崔が困難とフ	なった。							
36	を中止した。			代替案とし	して、町内々	小中学校に	直接花づく	りを依頼し	てきたことも	あり、令和6年度に			
	代替案として、過去の「利根の桜の花みこし」紹介動画の制作	乍や町内小り	中学校に花	ついても「	司様の方法で	で「利根の	桜の花みこ	し」を実施	したため,	「とね元気塾ワーク		_	
	づくりを直接依頼する方法を採用した。			ショップ	参加者数」。	という指標	で実績数を	示すことが	できなかった	- 0			
	児童や生徒たちが花みこし作りに参加し、将来の夢や母校への	の想いを書	いたメッ	今後は,こ	アフターコロ	コナの現代	の社会情勢	も踏まえ,	集合型ワーク	<sup>7</sup> ショップ形式以外			
	セージカードをパネルに貼り付けて展示することにより、町へ	への誇りや	愛着心の醸	の開催方法	去で, 町への	の誇りや愛	着心の醸成	に繋がり,	若い世代も楽	<b>炎しめる企画を検討</b>			
	成を図った。			していくず	必要がある。								
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	「利根町やその周辺の歴史講座」受講者数	55人	55人	47人	38人	42人	45人	48人	80人	60.0%			生涯学習課
	5 to 99 a 70 to 10					D. C. E.		#		00.070		ALC + Dr. + A W - Troub	
	5年間の取組内容	·	¥ >=# rt- 1	014 6 ± 1 4	6 do 1 - 1 . 7		標に対する			+v 181W 2 -12 777 =#	7.	分析を踏まえた今後の取組	
37	生涯学習センター主催講座として,「利根川図志講座」,「ふ の2講座を年間で9回ずつ、継続して開催してきた。また、町ウ								, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	A			
	いて、柳田國男記念公苑をコースに設定するなど、地域の歴史											_	
	会を提供した。	~ , ~ 10%)	r~/近/10·0/15%	,	ひ要である。 必要である。		THE TOTAL STEEM	- 20. CH	10 JUN C 17 /C	. 2 3 0 0 0 2 4 3 4			
	30 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			7 50 6 7 7	0.2.0000							_	

	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	空き家・空き地登録件数(累計)	111件	157件	172件	185件	187件	200件	205件	220件	93.2%			生活環境課
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
8 固定資産	税納税通知に空き家・空き地バンク制度のチラシ	ンを同封やおく	やみ窓口に	目標達成は	は出来なかり	ったが,個	別の相談対	応や空き家	相談会により	, 登録物件の増加			
て,空き	家・空き地バンク制度の周知を行った。令和6年	7月から, 空き	家・空き	に繋がった	こ。管理さ	れている空	き家は,居	住以外で使	用しているた	め登録に繋がらな			
地バンク	の拡充として利根町地域おこし協力隊の「空き家	マコーディネータ	ター」を導	い事が分れ	いり, アプロ	コーチする!	物件の見直	しが必要と	考える。				
入した。	空き家コーディネーター主催の相談会の実施によ	より空き家バン?	クの周知を									_	
行ったが	登録までには至らなかった。												
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画数値目標KPI	次期計画R12目	担当課
	空き家・空き地成約件数(累計)	58件	67件	69件	74件	75件	78件	81件	110件	73.6%	空き家・空き地成約件数(累計)	空き家15件 空き地83件	生活環境課
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
町公式が	ームページ,全国版空き家・空き地バンクサイト	、にて物件の情報	収提供を	令和6年度	は,空き地	成約が3件	,空き家成	約が0件だ	った。物件登	録があっても移住	登録物件の増加を図るとともに成約に係	¥う要件や助成制度の見	直しをおこない,成約件数の
行った。	令和6年7月から、空き家・空き地バンクの拡充	として利根町地	域おこし	目的以外の	の成約のたる	め取消とな	り成約件数	に反映され	なかった。成	対約に繋がる制度の	加に努める。		
協力隊の	「空き家コーディネーター」を導入した。			見直しが必	必要と考え	うれる。							
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	新築マイホーム取得助成金支給件数	37件	41件	21件	24件	19件	27件	25件	47件	53.2%			政策企画課
	5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	L 達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
	ホーム取得助成金として,町内に住宅を新築,建	とで替え、またに	は建売住宅	新築マイカ	トーム取得風	助成金制度	について広	報紙や町公	式ホームペー	ジでの掲載, 住民			
を購入し	た者に対し新築マイホーム取得助成金を交付した	t。また,子育 <sup>-</sup>	て世帯及び	課において	てもチラシ	を設置し,	町外での移	住・定住イ	ベントで制度	周知を図ったが目			
テレワー	クを行う世帯に対しては助成金の上乗せを行った	こ。制度周知に1	ついては,	標達成に3	Eらなかった	た。また,	R2年度以陷	¥減少傾向に	こある要因とし	ンて,四季の丘二丁		_	
広報紙,	町公式ホームページへの掲載、町外での移住・定	官住イベントでの	DPRを	目地区の発	≢売住宅が⊦	H31年度に	大部分が販	売されたこ	とが関連して	いると考えられ			
行った。				る。									
	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2基準	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画数値目標KGI	次期計画R12目標	担当課
		1100至十	八工人模					2 4.04	7.1.0				
	移住促進施策を通じた移住者数	_	_	30人	47人	45人	41人	48人	60人	80.0%	移住促進施策を通じた移住者数	60人	政策企画課
	5 年間の取組内容		•			R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析	を踏まえた今後の取組	
	町公式ホームページの移住・定住支援集約ペーシ			移住促進於	も 策のPRを	広報誌や町	公式ホーム	ュページ, V	VEB広告など	さまざまな媒体で掲	今後さらなるプロモーションの検討と,	引き続き,広報紙や町	J公式ホームページにおいて移
に, 国の	地方創生交付金を活用し、関東圏域の地域限定に	こおいて移住定位	主のWEB	載したほか	か, 移住定位	主者向けイ	ベントにお	いて出店を	行ってきたか	, 目標達成に至ら	促進施策の掲載を行っていくほか,作成	艾したパンフレットを有	ī効活用し,ふるさと回帰セン
広告を掲	載し、助成金制度の情報発信を行った。また、W	VEB広告のPR動	画とリン	なかった。	しかしな	がら,R2年	∈度と比べ,	プロモー	ションを行っ	たことで移住促進	ターへの設置や、移住定住者向けイベン	/トに出店する際や利根	関町のPRとなるイベントでσ
クしたハ	ンフレットを作成し,移住定住イベントや各利板	艮町のPRとなる	イベント	施策を通し	ごた移住者	数が増加傾	向にあるた	め,効果か	あると考えら	れる。	布を行う。また、新築マイホーム取得即	か成金や,結婚新生活支	「援事業などを通し,移住者/
	を行った。東京都千代田区にあるふるさと回帰す	支援センターに:	おいて,パ								支援を行うことに加え、定住促進施策力		とめ、関係各課と連携を強化し
ンフレッ	トの設置を行った。										さらなる移住定住者の促進を図っていく		

### (3)若者の出会い・結婚支援(重要業績評価指標:KPI)

	重要業績評価指標(KPI) H30基準 R1実	程 R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	利根町いばらき出会いサポートセンター入会登録料助成件数		-	4件	2件	2件	10件	20.0%			まち未来創造課
	5年間の取組内容			R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	:踏まえた今後の取締	E .
	広報とね及び町公式SNSにて、利根町いばらき出会いサポートセンター入会登録	斗 利根町い	ばらき 出会し	<b>ヽ</b> サポート	センター入	会登録料助	成の件数を増	骨やすため, 広報と			
1	助成制度や出張登録・相談会開催の周知を定期的に実施した。	ね及び町	公式SNSに。	よる周知や,	出張登録	・相談会を	開催したが、	町内独身者の多く			
4	また、出張登録・相談会では、県のマリッジサポーターによる結婚相談を実施し	は,広報	ヒね及び町仏	公式SNSを	債極的に閲	覧していな	かったことか	ら、情報が十分に			
	町内独身者に対して、いばらき出会いサポートセンターへの入会を促した。	行き届か	なかったとす	きえられる。	,					_	
		また, 情	吸が届いてい	いた場合で	も,本人の	結婚に対す	る意向を喚起	足するまでに至らな			
		かったも	のと考えられ	1る。							
		そのため,	今後はより	)適切な情	報発信方法	や,結婚に	対する意向を	:促す方法について			
		検討してい	· < 。								

# 基本目標5 働くを応援する"TONE"プロジェクト

(数値	目標)
-----	-----

	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	農業の法人経営数	3件	3件	3件	3件	3件	3件	3件	6件	50.0%			農業政策課
4	5 年間の取組内容	5 年間の取組内容							由と分析		分析を	踏まえた今後の取	組
	大規模経営を目指す農家に対して、県で開催する研修会や講座	☑の案内を 델	通知した。	町内で法人	、化を目指す	ナ農家は少	ない。また	,十分に周	知されていな	いためか,戦略目			
	また,法人化に向けた窓口相談を行っている。更に法人化に闘	引するパンフ	フレットを	標当初から	これまで目	目標の半分	の達成率と	なった。					
	農業政策課前のパンフレットスタンドに設置し、周知に努めて	ている。											

	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
認定農業者数	27人	26人	28人	29人	33人	33人	33人	35人	94.3%			農業政策課
5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析			分析を踏まえた今後の取組	
定農業者に対し,利根町がんばる農業者応援助成制度	や認定農業者への	の優遇措置	認定農業者	音の人数は後	数増してい.	る。徐々に	基盤整備事	業が進められ	, 耕作しやすい農			
を周知している。また件数は少ないが,希望者に対し	認定農業者へなる	るための相	地が増えて	こいるため,	助成制度	を利用し補	助を受けな	がら耕作を行	う認定農業者も増			
を行った。			加した。今	タ後について	ては目標値	に向けて,	認定農業者	が育つ環境を	:再度検討していく			
			必要がある	らと考えられ	<b>1る。</b>							_
重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
がんばる農業者応援助成件数	4件	4件	0件	5件	1件	3件	3件	4件	75.0%			農業政策課
5 年間の取組内容					R 6 El	画に対する	達成率の理	由と分析			分析を踏まえた今後の取組	
る年間の収組的各 R定農業者等が経営規模を拡大するため,新規作物の導	入に必要な機械	購入費や施	規模拡大を	計画してい					]で利用を希望して		カル と聞るんたう仮の規則	
登導入費に対し,経費の一部を助成している。制度を周									は、前回の目標を			
画書を送付する際に案内文を同封している。また認定農			越えなけれ						16, 10 E 2 E 18 C			
当 とという からに 深ら入と により してい る。 また 配 た 展 关って いる。 制度 利用 希望 者 に は , 5 年間 の 農業 経営 改			100 / C · S · V / 1	018/13/13 C	2 72 0 72 0 7	, Æ/%+18	7 3 70 12 13	7700				
令和3年度からは、予算内でより多くの農家へ助成でき												
00万円から200万円に引き下げている。5年間の助												
りの分台がらともの力台に行されたといる。 5 年間の成 莫拡大及び品質向上を希望する認定農業者からの申請で		で, 莊呂別										
実 <u>M人及び</u> 四貝四上で布主する配足辰未有がりの中語で	w 5°										`	
重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	0件	0件	0.44	0件	0./4	0.//	0.44	- 411	0.004			
うめえもん認定件数		U1 <del>+</del>	U1 <del>年</del>	U1 <del>+</del>	U1 <del>+</del>	()1牛	()1生	2件	0.0%		_	農業政策課
うめえもん認定件数		01+	0件	01+	0件	0件	0件	2件	0.0%			農業政策課
5 年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析			分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
<b>5 年間の取組内容</b> 高付加価値米生産計画書を作成し 3 年以上取り組むこと		を対象に、	高付加価値	5米を生産す	<b>R6目</b> するための	<b>票に対する</b> 計画書を作	<b>達成率の理</b> 成し,生産	<b>由と分析</b> に取り組み助	成をうけた農家は		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5 年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 上壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基		を対象に、	高付加価値数件いたか	5米を生産で が、例年開作	R 6目 するための 崖のお米日	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡	<b>由と分析</b> に取り組み助 ヘエントリー	D成をうけた農家は して、その結果を		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが,基 には至っていない。	準をクリアし認力	を対象に,	高付加価値数件いたか踏まえて認	恒米を生産で が,例年開係 限定を行う。	<b>R 6 目</b> を するための 誰のお米日 測定機械	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を 考えていたが、測定		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが,基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し,助成を受けた農家数	準をクリアし認な	を対象に, 定するまで である。	高付加価値数件いたが踏まえて認機械のメー	恒米を生産で が、例年開作 限定を行う。 -カーも複数	R 6 目 を するための 単のお米日 測定機械 ぬあり, す	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令	準をクリアし認な	を対象に, 定するまで である。	高付加価値数件いたが踏まえて認機械のメー	恒米を生産で が、例年開作 限定を行う。 -カーも複数	R 6 目 を するための 単のお米日 測定機械 ぬあり, す	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を 考えていたが、測定		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令	準をクリアし認な	を対象に, 定するまで である。	高付加価値数件いたが踏まえて認機械のメー	恒米を生産で が、例年開作 限定を行う。 -カーも複数	R 6 目 を するための 単のお米日 測定機械 ぬあり, す	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を 考えていたが、測定		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令	準をクリアし認な	を対象に, 定するまで である。	高付加価値数件いたが踏まえて認機械のメー	恒米を生産で が、例年開作 限定を行う。 -カーも複数	R 6 目 を するための 単のお米日 測定機械 ぬあり, す	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を 考えていたが、測定		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令	準をクリアし認な	を対象に, 定するまで である。	高付加価値数件いたが踏まえて認機械のメー	恒米を生産で が、例年開作 限定を行う。 -カーも複数	R 6 目 を するための 単のお米日 測定機械 ぬあり, す	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を 考えていたが、測定		分析を踏まえた今後の取組	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。	準をクリアし認な	を対象に, 定するまで である。 令和 6 年度	高付加価値数件いたが踏まえて認機械のメー	恒米を生産で が、例年開作 限定を行う。 -カーも複数	R 6 目 を するための 単のお米日 測定機械 ぬあり, す	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考	D成をうけた農家は して、その結果を 考えていたが、測定	次期計画KPI	分析を踏まえた今後の取組 次期計画R12目標	農業政策課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令 2件 重要業績評価指標(KPI)	準をクリアし認 (は以下のとおり) 和5年度4件, H30基準	を対象に、 定するまで である。 令和 6 年度	高付加価値数件いたか踏まえて誘機械のメーたため認定	直米を生産 (*, 例年開係 場定を行う。 - カーも複数 Eに至らず,	R6目科 するための 能のお米日 測定機械 淡枚あり、す 達成率が	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテで85点以上 ペての測定 0%になっ	<b>達成率の理</b> 成し、生産ストin静岡ストin静岡 お出たら合格ラが出たら合格ラた。	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考 インを超える	成をうけた農家はして、その結果を がえていたが、測定 お米はできなかっ			担当課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令 2件	:準をクリアし認: なは以下のとおり か和5年度4件,	を対象に, 定するまで である。 令和 6 年度	高付加価値数件いたか踏まえて認機械のメーたため認定	直米を生産すが、例年開作 別定を行う。 - カーも複数 こに至らず、	R 6目材 するための 能のお米日 測定機械 改あり,すっ 達成率が	<b>票に対する</b> 計画書を作 本ーコンテ で85点以上 べての測定 0%になっ	<b>達成率の理</b> 成し,生産 ストin静岡 が出たら合 器で合格ラ た。	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考 インを超える	の成をうけた農家は して、その結果を そえていたが、測定 お米はできなかっ			
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令 2件 重要業績評価指標(KPI)	準をクリアし認 (は以下のとおり) 和5年度4件, H30基準	を対象に、 定するまで である。 令和 6 年度	高付加価値数件いたか踏まえて誘機械のメーたため認定	直米を生産 (*, 例年開係 場定を行う。 - カーも複数 Eに至らず,	R 6 目 相 するための	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテ で85点以上 べての測定 0%になっ	<b>達成率の理</b> 成し、生産ストin静岡ストin静岡 お出たら合格ラが出たら合格ラた。	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考 インを超える R6目標 2件	成をうけた農家はして、その結果を がえていたが、測定 お米はできなかっ	次期計画KPI		担当課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令 2件 重要業績評価指標(KPI) 6次産業商品化件数	は以下のとおり (は以下のとおり) 和 5 年度 4 件, H30基準 1件	を対象に, 定するまで である。 令和 6 年度 R1実績 1件	高付加価値 数件いたか 踏まえて試 機械のメー たため認定 R2実績 1件	直米を生産 が、例年開保 R定を行う。 - カーも複数 Eに至らず、 R3実績 1件	R 6 目 相 するための 単のお米日 測定機械 なあり、す 達成率が R4実績 1件 R 6 目 相 R 6 目 和 R 6 目 相 R 6 目 和 R 6 目 A 8 R 6 R 6 R 6 R 6 R 6 R 6 R 6 R 6 R 6 R	<b>票に対する</b> 計画書を作 本一コンテで85点以上 べての測定 の%になっ	<b>達成率の理</b> 成し、生産ストin静岡 ストin静岡 か出たら合格ラ た。 R6実績 0件 <b>達成率の理</b>	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインと考 インを超える R6目標 2件 由と分析	成をうけた農家はして、その結果を 考えていたが、測定 お米はできなかっ   <b>達成率</b> 0.0%	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令 2件 重要業績評価指標(KPI) 6次産業商品化件数	<ul><li>は以下のとおりが和5年度4件,</li><li>H30基準 1件</li></ul>	を対象に、 定するまで である。 令和 6 年度 R1実績 1件	高付加価値数件いたか踏まえて認機械のメーたため認定 R2実績 1件 農産物を生	直米を生産 (水) 例年開保 (水) 例年開保 (水) 例年開保 (水) である。 (水) でる。 (水)	R 6 目 相 するための 単のお米日 測定機械	<b>票に対する</b> 計画書を作本ーコンテで85点以上定での別定での別定での別でのの%になっののではなった。	<b>達成率の理</b> 成し、生産 ストin静ら合 が出たら格ラ た。 R6実績 0件 <b>達成率の理</b> でを行える	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインを超える R6目標 2件 曲と分析	成をうけた農家はして、その結果を 考えていたが、測定 お米はできなかっ   <b>達成率</b> 0.0%	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと 土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基 には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数 令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令 2件 重要業績評価指標(KPI) 6次産業商品化件数 5年間の取組内容 本町で生産される農産物の付加価値を高めるため、お米 を活用した農業の6次産業化に向けた研究・商品開発へ	は以下のとおり が和 5 年度 4 件, イ 1 件 ・ や野菜などの町I の支援を地場産業	を対象に, 定するまで である。 令和 6 年度 R1実績 1件 内産農産物 ま推進協議	高付加価値数件いたか踏まえて認機械のメーたため認定 R2実績 1件 農産物を生	直米を生産 (水) 例年開保 (水) 例年開保 (水) 例年開保 (水) である。 (水) でる。 (水)	R 6 目 相 するための 単のお米日 測定機械	<b>票に対する</b> 計画書を作本ーコンテで85点以上定での別定での別定での別でのの%になっののではなった。	<b>達成率の理</b> 成し、生産 ストin静ら合 が出たら格ラ た。 R6実績 0件 <b>達成率の理</b> でを行える	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインを超える R6目標 2件 曲と分析	i成をうけた農家はして、その結果を だえていたが、測定 お米はできなかっ <b>達成率</b> 0.0%	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
5年間の取組内容 高付加価値米生産計画書を作成し3年以上取り組むこと土壌改良費及び食味検定審査料の一部を助成したが、基には至っていない。 高付加価値米生産計画書を作成し、助成を受けた農家数令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令2件  重要業績評価指標(KPI) 6次産業商品化件数  5年間の取組内容 本町で生産される農産物の付加価値を高めるため、お米	は以下のとおり (は以下のとおり) 和 5 年度 4 件, 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	を対象に, 定するまで である。 令和 6 年度 R1実績 1件 内産農産協議 5齢化によ	高付加価値数件いたか踏まえて認機械のメーたため認定 R2実績 1件 農産物を生	直米を生産 (水) 例年開保 (水) 例年開保 (水) 例年開保 (水) である。 (水) でる。 (水)	R 6 目 相 するための 単のお米日 測定機械	<b>票に対する</b> 計画書を作本ーコンテで85点以上定での別定での別定での別でのの%になっののではなった。	<b>達成率の理</b> 成し、生産 ストin静ら合 が出たら格ラ た。 R6実績 0件 <b>達成率の理</b> でを行える	由と分析 に取り組み助 ヘエントリー 格ラインを超える R6目標 2件 曲と分析	i成をうけた農家はして、その結果を だえていたが、測定 お米はできなかっ 達成率 0.0%	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課

### (2)中小企業の活性化(重要業績評価指標:KPI)

	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	先端設備等導入件数	2件	3件	2件	3件	3件	0件	2件	5件	40.0%			まち未来創造課
	5 年間の取組内容						票に対するi					:踏まえた今後の取	狙
48	制度改正等もあり,制度の概要及び申請方法について,町公式	<b>tホームペ-</b>	-ジにて周	物価・原材	料費の高朋	鶯の影響に.	より、営業	に支障をき	たしている事	業者も多く、新た			
	知に努めたが,新型コロナウイルス感染症や物価・原材料費の												
	営業に支障をきたしている事業者も多く,新たに設備を導入し	をする事	ができなか	った。									
	業者が少なかった。												

### (3)町内商店・商店街の活性化(重要業績評価指標:KPI)

	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3基準	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	空き店舗成約件数	_	_	1	0件	1件	2件	1件	5件	20.0%	空き店舗バンク物件登録件数	5件	まち未来創造課
	5年間の取組内容					R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	:踏まえた今後の取	組
	空き店舗バンク制度や助成制度の内容を町公式ホームページに	こて周知を国	図ったほ	現状,実際	除に空き店舗	甫を貸し出	したいとい	う所有者が	少なく,空き	店舗バンクの登録	定期的に開催する「利根町空き店舗対策	検討協議会」など,	空き店舗対策事業による活動で所
4:	か,所有者へのバンク登録の依頼通知の発送,直接訪問など特別である。 かんかん かんしゅう しゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう かんりょう しゅう かんしゅう かんり かんしゅう かんり かんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう かんしゅう しゅう かんり かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	物件登録の4	確保に努め	件数も増え	ていないた	ため, 目標作	件数を達成	することが	できなかった	- 0	有者の意識を変えていくほか、チラシを	ポスティングし事業	美の周知を行うとともに,空き店舗
	た。また、利根町商工会で立ち上げた「利根町空き店舗対策権	<b>负討協議会</b> 」	に参加								所有者への物件登録依頼の継続と不動産	事業者との連携を図	図っていく。
	し、空き店舗の現状と今後の問題点、空き店舗解消に向けた。	意見交換を復	うった。										

#### (4)働く人材の募集活動(重要業績評価指標:KPI)

	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	ホームページの「はたらく情報」に関する	_	2020件	4653件	4734件	4032件	1952件	2639件	4885件	54.0%			まち未来創造課
	Webサイト閲覧数	_	20201+	40037+	4/341+	40321+	19521+	20391+	40001+	54.0%			より木米剧垣誄
	5 年間の取組内容							達成率の理				:踏まえた今後の取	組
5	0 ハローワークと連携した雇用対策として, 町ホームページでの	情報公開の	)ほか, チ	ハローワー	- クからのサ	青報を元に,	最新の求	人情報を町	公式ホームペ	ージに掲載し周知			
	ラシの設置などを通じて雇用やセミナー等の情報発信を行い,											_	
	図った。												

### 基本目標6 地域で生活を守る"TONE"プロジェクト (数値目標)

	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	現在の困りごと・不安ごとで												
	「あなた自身の通勤・通学が不便」と回答した住民の割合	25.3%	_	_	_	_	24.7%	_	23.0%以下	93.0%			政策企画課
	【住民アンケート】												
	5年間の取組内容					R 6 目標	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を	と踏まえた今後の取締	II.
	町民の通勤・通学等の生活の足への影響を及ぼす、栄橋の慢性	E的な渋滞約	爰和に向け	住民アンケ	ートの調査	査結果から,	町民の通	勤・通学先	は、約2割が	町内で,約8割が町			
	て、R2年度に若草大橋有料道路の通勤時間帯の無料措置の検討												
51	の無料化は栄橋の渋滞緩和策に効果があることが分かった。R	6年6月には	は「若草大	佐駅が主)	となった。	R5年度の	実績につい	て, H30年	=度基準から改	女善できなかった理			
	橋有料道路無料化促進協議会」を設立し、近隣市町村と連携や												
	行い,若草大橋有料道路の無料化に向けた取組を実施した。			て, 栄橋の	)混雑によっ	って遅延が	生じている	ことが挙け	「られる。若草	「大橋有料道路の通		_	
	また、布佐駅、取手駅等に係る鉄道の増発や本数維持のために	こも,茨城県	具常磐線整	勤時間帯 <i>の</i>	無料措置に	は栄橋の渋	帯緩和に効	果はあるか	、, 町単独で岩	<b>吉草大橋有料道路の</b>			
	備促進期成同盟会及び成田線活性化促進協議会において,JR東	見日本への st	要望活動や	無料化を実	₹施するに!	は財源的に	難しいこと	が現状であ	る。				_
	開業周年記念事業,利用促進のPR活動に参加した。												
	町公共交通の更なる利便性向上のため、路線バスやタクシー事	事業者等と抗	協議・調整										
	や、路線バス回転所・待機所の整備・維持を行った。												

#### (1) 地域公共充满毛织内体但 (毛面类结束压比槽・VDI)

	,											
重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
ふれ愛タクシー利用者数	6911人	7349人	6362人	8047人	7818人	8701人	8890人	7450人	119.3%			政策企画課
5 年間の取組内容	5年間の取組内容 R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用者数が減少したが、R3年度							由と分析		分析を踏まえた今後の取組		
R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で								とと, 高齢者	ドや免許返納後の			
は新型コロナ臨時交付金を活用した「ふれ愛タクミ	レー利用促進事業 (既	存の登録	ニーズが参	多いことから	ら,R5年度	以降は増加	1傾向にある	ら。しかし,F	R5年度実施した公共			
者,及び新規登録者へ3,000円分の利用券を1回配る	市,有効期限は令和3	年12月28	交通アング	<b>ァートやふ</b> オ	1愛タクシ	ー利用者ア	ンケートに	よると, 夕方	5以降や平日以外の			
2 日迄)」の実施とウエットティッシュの実施啓発月	者数が一時	運行の要望,予約締切時間の繰り下げの要望,利用方法が分かりにくい等の意見が上										
的に増加した。		がっている。地域公共交通計画に基づき,ふれ愛タクシーの更なる利便性向上に向け										
R4年7月から利用者アンケートによる要望が多かっ	アンケートによる要望が多かった「JAとりで総合医療セン た見直しについては,福ちゃん号や民間路線バスと一体的に公共交通の再編を行う。											
ター」への乗り入れを開始し、R5年度以降は利用:												
年,町の公共交通をまとめたガイドマップを改訂し	F,町の公共交通をまとめたガイドマップを改訂し,公共施設への設置や町公式											
ホームページへの情報掲載,広報紙掲載等により,	ホームページへの情報掲載,広報紙掲載等により,利用促進のため周知を行った。											
												_
重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
重要業績評価指標(KPI) 福祉バス利用者数		<b>R1実績</b> 10678人		<b>R3実績</b> 6919人	<b>R4実績</b> 7009人	<b>R5実績</b> 7655人	<b>R6実績</b> 9656人	<b>R6目標</b> 11000人	<b>達成率</b> 87.8%	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課 保健福祉センター
福祉バス利用者数	10052人				7009人	7655人	9656人	11000人				保健福祉センター
福祉バス利用者数 <b>5 年間の取組内容</b>	10052人	10678人	7315人	6919人	7009人 <b>R 6 目</b> 标	7655人 票 <b>に対する</b>	9656人 <b>達成率の理</b>	11000人 <b>由と分析</b>	87.8%		次期計画R12目標 分析を踏まえた今後の取組	保健福祉センター
福祉バス利用者数 5年間の取組内容 町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに	10052人 2台に設けた停留所を 2台に	10678人の車両で,	7315人	6919人	7009人 R 6 目標 感染症拡大の	7655人 <b>票に対する</b> の影響より	9656人 <b>達成率の理</b> ,令和 2 年	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3	87.8%			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容  町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所	10052人 10052人 2台には、大利根交通の対	10678人 の車両で, 比方車庫も	7315人 新型コロラ 者数が減少	6919人 トウイルス原 少傾向だっ7	7009人 <b>R 6 目</b> 核 感染症拡大の たが、感染	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影	9656人 <b>達成率の理</b> ,令和2年 響が落ち着	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年	87.8% 年度にかけて利用 ∈度から令和 6 年度			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容 町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所 あり、路線バスへの接続が可能となっており、町の	10052人 10052人 2台には、大利根交通のおひ公共交通をまとめた	10678人 の車両で, 比方車庫も ガイドマッ	7315人 新型コロラ 者数が減少 にかけて系	6919人 トウイルス 少傾向だっ7 川用者数が	7009人 R 6 目标 感染症拡大の たが、感染 再び増加して	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影 てきたが,	<b>達成率の理</b> , 令和2年 響が落ち着 一方で, 福	<b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年 ちゃん号利用	87.8% 年度にかけて利用 =度から令和 6 年度  者アンケート調査			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容  町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所 あり、路線バスへの接続が可能となっており、町のプや近隣自治体のコミュニティバスの時刻表を福祉	10052人 10052人 2台には、大利根交通のおひ公共交通をまとめた	10678人 の車両で, 比方車庫も ガイドマッ	7315人 新型コロッ 者数が減少 にかけて利 の結果から	6919人 トウイルス か傾向だった リ用者数が 時間にる	7009人 R 6 目标 感染症拡大 c たが、感染: 再び増加して あう便がな	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影 てきたが, い, 運行本	9656人 <b>達成率の理</b> , 令和2年 響が落ち着 一方で, 福 数を増やし	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年 ちゃん号利用 てほしいなど	87.8% 年度にかけて利用 E度から令和 6 年度 B者アンケート調査 の要望があること			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容 町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所 あり、路線バスへの接続が可能となっており、町のプや近隣自治体のコミュニティバスの時刻表を福祉 民への周知を行った。	10052人  記けた停留所を2台 には、大利根交通のお の公共交通をまとめた。	の車両で, と方車庫も ガイドマッ 設置し,住	7315人 新型コロッ 者数が減少 にかけて系 の結果から から、利用	6919人 トウイルス り傾向だった 川用者数が ら、時間に る 日者のニース	7009人 R 6 目标 感染症拡大 c たが、感染: 再び増加して あう便がな	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影 てきたが, い, 運行本	9656人 <b>達成率の理</b> , 令和2年 響が落ち着 一方で, 福 数を増やし	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年 ちゃん号利用 てほしいなど	87.8% 年度にかけて利用 =度から令和 6 年度  者アンケート調査			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容  町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所 あり、路線バスへの接続が可能となっており、町のプや近隣自治体のコミュニティバスの時刻表を福祉 民への周知を行った。 令和6年度当初は、ワゴン車(福ちゃん号)2台で	10052人 10052人 2台には、大利根交通のおり公共交通をまとめたとバス内や公共施設へ	10678人 の車両で, ヒ方車庫も ガイドマッ 設置し,住	7315人 新型コロッ 者数が減少 にかけて利 の結果から から、利用 と考える。	6919人 トウイルス り傾向だった 川用者数が ら、時間に る 日者のニース	7009人 R 6 目标 感染症拡大 c たが、感染: 再び増加して あう便がな	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影 てきたが, い, 運行本	9656人 <b>達成率の理</b> , 令和2年 響が落ち着 一方で, 福 数を増やし	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年 ちゃん号利用 てほしいなど	87.8% 年度にかけて利用 E度から令和 6 年度 B者アンケート調査 の要望があること			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容  町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所 あり、路線バスへの接続が可能となっており、町のプや近隣自治体のコミュニティバスの時刻表を福祉 民への周知を行った。 令和6年度当初は、ワゴン車(福ちゃん号)2台でり)および外回り専用車1台(14人乗り)で運行	10052人 記けた停留所を2台には、大利根交通のおり公共交通をまとめた。 とバス内や公共施設へ で、内回り専用車1台にしたが、内回りの利	10678人 の車両で, 比方車庫も ガイドマッ 設置し, 住 (10人乗 用者数が多	7315人 新型コロワ 者数が減少 にかけて系 の結果から から、利用 と考える。	6919人 トウイルス り傾向だった 川用者数が ら、時間に る 日者のニース	7009人 R 6 目标 感染症拡大 c たが、感染: 再び増加して あう便がな	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影 てきたが, い, 運行本	9656人 <b>達成率の理</b> , 令和2年 響が落ち着 一方で, 福 数を増やし	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年 ちゃん号利用 てほしいなど	87.8% 年度にかけて利用 E度から令和 6 年度 B者アンケート調査 の要望があること			保健福祉センター
福祉バス利用者数  5年間の取組内容  町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに 2つのコースを設定し循環運行した。また、停留所 あり、路線バスへの接続が可能となっており、町のプや近隣自治体のコミュニティバスの時刻表を福祉 民への周知を行った。 令和6年度当初は、ワゴン車(福ちゃん号)2台で	10052人 記けた停留所を2台には、大利根交通のおり公共交通をまとめた。 とバス内や公共施設へ で、内回り専用車1台にしたが、内回りの利	10678人 の車両で, 比方車庫も ガイドマッ 設置し, 住 (10人乗 用者数が多	7315人 新型コロワ 者数が減少 にかけて系 の結果から から、利用 と考える。	6919人 トウイルス り傾向だった 川用者数が ら、時間に る 日者のニース	7009人 R 6 目标 感染症拡大 c たが、感染: 再び増加して あう便がな	7655人 <b>票に対する</b> の影響より 症拡大の影 てきたが, い, 運行本	9656人 <b>達成率の理</b> , 令和2年 響が落ち着 一方で, 福 数を増やし	11000人 <b>由と分析</b> 度から令和3 き,令和4年 ちゃん号利用 てほしいなど	87.8% 年度にかけて利用 E度から令和 6 年度 B者アンケート調査 の要望があること			保健福祉センター

#### (2) 地域コミュニティの活性化(重要業績評価指標:KPI) 重要業績評価指標(KPI)

重要美績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課	
住民協働事業実施件数(累計)	7件	8件	9件	12件	16件	20件	24件	17件	141.2%			政策企画課	
5年間の取組内容			R 6 目	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を踏まえた今後の取組					
住民が自主的に企画・実施する公益性のある取組に対し、事								がR6年					
54 上で必要な経費の一部を助成した。募集については,広報紙	プ度まで継続して行われていることがR6目標に対する達成率となった理由の一因であ												
への掲載、各公共施設への掲示により周知を行った。R5年度には審査を行う委員 る。											_		
の要綱改正を行ったことで関係各課との連携を強化し、協働	によるまち	づくりの促	今後の,信	主民協働事業	業の実施件	数は1団体が	が活動を終	了したことや	補助率が下がるス				
進を行った。			テップアッ										
			る。										

# (3)地域の防災力の向上(重要業績評価指標:KPI)

	重要業績評価指標(KPI)	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	町補助金を活用し防災士資格を取得した者を	30.5%	30.5%	30.5%	30.5%	38.8%	38.8%	38.8%	100.0%	38.8%	防災士資格取得人数(自主防災組織)累	50人	防災危機管理課
	有する地区の割合(累計)	30.576	30.376	30.576	30.576	30.070	30.070	30.070	100.076	30.070	計	30/	例灸厄饭自生味
	5年間の取組内容			R 6 目标	票に対する	達成率の理	由と分析		分析を踏まえた今後の取組				
5	5 全地域の自主防災組織に防災士の有資格者を在籍してもらうこ	町補助金を	活用した資	資格取得者(	は増えてい	るが,令和	4~6年度の	新たな取得者は,	区長会総会及び資格取得者がいない区長宅へ,防災士の資格取得に関する補助制度について直				
	リーダーの育成や地域の防災力向上を図るため、防災士資格取	既に補助金	きを活用し7	た地区から	の取得者で	あった。			接説明を行い,防災士が中心となって防災活動していただけるよう周知を行う。				
	ついて、区長会や各自主防災組織の区長宅への訪問による周知	ついて,区長会や各自主防災組織の区長宅への訪問による周知と通知文による案内											
	を行った。												
								_					
		H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R6目標	達成率	次期計画KPI	次期計画R12目標	担当課
	補助金交付を受けた自主防災組織数					_	16地区	10地区	36地区	27.8%			防災危機管理課
	5年間の取組内容	R6目標に対する達成率の理由と分析							分析を踏まえた今後の取組				
56	防災訓練の参加促進及び地域の防災力の向上を図るため、自当	令和5年度の町と自主防災組織との防災訓練について、防災訓練の日程変更等が発生											
		月の一部補助について,区長会や各自主防災組織の区長宅への訪問による周知 し,参加予定だった地区と日程が合わず,補助金の交付数がR5年度より低下してし											
	と通知文による案内を行った。												